

大阪消防

OSAKA SHOBO

令和元年

10

月号

No.835



大阪都心の2大オアシス!

挑戦者、求ム!

LOVLY **熱波!**
ロウリエ

体感100℃!
灼熱のエンターテイメント!!

大好評につき
毎日イベント
開催中!!

梅田の大東洋
メンズサウナ&カプセルホテル
レディスサウナ

美泡
美肌の湯
萬の湯

本格派サウナ浴場
本格派リラクゼーションMENU

なんば千日前のアムザ
メンズサウナ&カプセルホテル

コンセント、Wifi、各種自慢のサービス

団体割引適用で割安!
※③を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために!

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 のための 保険

1 **30%**
消防職員医療保険
医療保険基本特約・疾病保険特約
・傷害保険特約セット 団体総合保険
募集時期 ■ 7月～8月 2月～3月 2月～4月 (新採用プラン)

2 **30%**
消防職員傷害保険
総合補償特約セット
普通傷害保険・家庭傷害保険
募集時期 ■ 12月～2月

3 **3,200円**
消防職員賠償責任保険
救命救急士の
専門業務も補償!
公務員賠償責任保険 (消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、保険料
支払に関する特約条項)
募集時期 ■ 12月～2月 7月～8月

4 **20%**
消防職員がん保険
団体総合生活保険 (がん補償)
募集時期 ■ 12月～2月

5 **20%**
消防職員介護保険
団体総合生活保険 (介護補償)
募集時期 ■ 12月～2月

6 **約40%**
消防退職者医療保険
団体総合生活保険 (医療補償)
募集時期 ■ 12月～2月

こちらは概要のご案内になります。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合は、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社 一般財団法人 全国消防協会 損害保険取扱代理店

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331 (代)

引受保険会社 ・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社

SJNK18-11548 (2018/12/10)
18-TC02060 (2018年12月作成)



宮崎 耕司

此花区防火協力会 監事
此花区自衛消防協議会 会長
此花区公衆集会場防火協議会 会長
住友電気工業株式会社 大阪製作所長



グローバル化と防災

弊社大阪製作所は、此花区のほぼ真ん中に位置していますが、周囲の環境はこの20年で大きく様変わりしていると感じます。その一つがグローバル化であり、昨年(平成30年)の来阪外国人旅行者数は1,141万人に上り、過去最高を記録したとのことですが、弊社の周辺でも観光目的の外国人旅行者が増え、街中で外国人から道を尋ねられることも多くなりました。

弊社内でも社員のグローバル化が少しずつ進みつつあり、日本語でのコミュニケーションに支障ある外国籍の社員や、海外の大学からのインターン生が日常的に同じ職場で働いております。昨年は6月の地震、7月の豪雨、9月の台風と自然災害が続きましたが、いざ災害が発生してみると会社の指示の伝達や、安否確認に時間を要するなどして課題が多々あり、彼らの安全・防災対策を大幅に見直すきっかけとなりました。

取組みとしては、各種表示・資料の多言語化や、緊急連絡先の整備

に始まり、受入時の安全研修は英語でも行う他、有事に備えて災害に比較的強いといわれるソーシャルネットワークサービスに登録する、携帯電話に災害用アプリをインストールさせるなど様々ですが、これらは過去の実体験を踏まえ、外国籍社員とともに案出しており、それなりに実効ある対策になっていると思います。彼らも、自然災害の多いこの国に住み、教育を受ける中で、安全や防災の重要性を年々よく理解するようになってきています。

今年4月からは出入国管理法が改正され、一部の外国人労働者には門戸が開かれました。国内の人手不足が深刻化の一途をたどる中、外国籍社員の増加は不可避と思われ、われわれの取組みは今後より一層充実させる必要があると考えております。日本人社員も外国籍社員も等しく安全防災に留意して行動できるよう、社員全員の防災意識の向上に努めて参ります。



第48回 全国消防救助技術大会

8月25日
岡山市

全国の9地区支部から勝ち抜いてきた約1,000名の救助隊員が、日頃の訓練成果を発揮して、その卓越した救助技術を競い合った。





令和元年度 大阪市総合防災訓練

9月2日



令和元年度 全国優良消防職員表彰式

8月24日
グランビア岡山



後列左から 城戸局長、中脇課長

前列左から 山屋 徳宏(港)、西村 誠二(城東)、藤本 純二(生野)、小山 浩(水上)、土手 洋司(浪速)

表紙：雪鯨橋／編集部

01	このは	グローバル化と防災	宮崎 耕司
02	グラビア	第48回 全国消防救助技術大会	編集部
04	グラビア	令和元年度 大阪市総合防災訓練・令和元年度 全国優良消防職員表彰式	編集部
05	コンテンツ		編集部
06	いらっしゃい、大阪消防です!	中村 亨さんを訪ねて	編集部
09	ニュースカプセル	ベルリン、パリ、北京	藤井英一 イラスト・山田いつか
10	“プロ”消防士の条件	パフォーマンスとオーバートレーニング	福田 悟志
12	レスキューナースからのメッセージ (43)	「自己判断」、「自己責任」、を念頭に行動を・・・!!	辻 直美
13	救急安心センターおおさかだより		救急課
13	災害概況		警防課
14	コマンドアイ	G20大阪サミット警戒時における指令送受信端末装置 D-Fighter の活用について	指令情報センター
16	調査鑑識	第106回初任教育に係る講師派遣	調査鑑識
18	レスキューボイスII	～初期情報での判断～ (No.16)	警防課
21	大阪府立消防学校	第106回初任教育生～実科査問・修業式に向けて～	大阪府立消防学校
22	楽楽大阪弁万葉講座	(第九回) うちのが思い 深いで皇子様	中村 博
23	環状線		各所属
30	大阪の消防NEWS	枚方寝屋川消防組合消防本部・堺市消防局・茨木市・大阪狭山市消防本部	
33	職務1	教養資材の貸出について	規制課
34	特集	第48回消防救助技術近畿地区指導会 出場隊員コメント	警防課
39	そやねん! 教育訓練センター		高度専門教育訓練センター
41	職務2	予防部めぐり 自家発電設備の点検について	規制課
43	職務3	STR「セーフティーネット・レスキュー」について	警防課
44	自衛消防隊紹介		生野区
44	女性防火クラブだより		東成区
45	大阪市防火管理協会からのお知らせ		編集部
46	健康ダイアリー	シリーズ～がん～ Vol. 2 「食道がん」 (No.1 早く見つけよう)	人事課
47	親睦会だより	令和元年度 親睦会水泳大会結果	大阪市消防職員親睦会
48	大阪めぐり (表紙)・編集室		編集部

篠田 初さんからのご紹介 『 中村 亨さんを訪ねて 』

始まりは古墳時代と古く、渡来人が養蚕と絹織物の技術を持ち込んだ5〜6世紀に帰化人の豪族秦氏の織技術によって平安時代に起こりました。宮廷文化を中心に発展し、大舎人町で生産される絹や綾は高品質なところから珍重され、室町時代には「大舎人座」と呼ばれる組織が誕生して受注の幅も大きく広がりをみせましたが、応仁の乱(1467〜1477年)が起こり西軍の大将山名宗全が西に陣をはった事が地名の由来となりました。

の乱で西軍の陣地であった地域(現在の上京区大宮)に戻って織物業を復活させました。西陣は、京都の西北部(上京区、北区)にあたる地域の名称で、織屋(織物業者)が製造する織物を西陣織といわれています。

野にも幅広い製品を生み出されました。

国に指定されているだけでも12種類の品種があり、そのひとつに手の爪を鋸の刃のようにギザギザに削って、図柄を見ながら織り上げる爪搔本綴織(つめかきほんつづれおり)をはじめ、経錦(たてにしき)、緯錦(ぬきにしき)、緞子(どんす)、朱珍(しゅちん)、緞巴(じょうは)、風通(ふうつう)、もじり織、本しば織、ピロード、緋織、紺などで、紗(しゃ)や羅(ら)といった透かし生地や細い真絹で織った紬、お召しと呼ばれるちりめん状の本しば織、表裏で異なる色柄が表現できる風通といった多彩な織り方が発達した

西陣織



西陣織物師

なかむら とうる
中村 亨さん

プロフィール

- 1976年(昭和51年) 1月28日 京都市に生まれる
- 1994年(平成6年) 袷染、打敷(うちしき)、仏具等販売会社に勤務
- 1999年(平成11年) 家業の手伝いを始める
- 2013年(平成25年) 京都市「未来の名匠」認定
- 2015年(平成27年) 伝統的工芸品産業功労者等経済大臣表彰 若手奨励賞受賞
- 2017年(平成28年) 近畿経済産業局長表彰 奨励賞受賞

西陣織の手順

事が特徴で、生地は先染めしてから織ってあるので、後染めよりも丈夫で皺になりにくい点も魅力の一つだと思えます。デザインはシンプルなものから雅なものまで幅広く様々です。

織機には、綴機、手機、力織機の3種類があります。

1 図案 先染めした糸を使って生地を織るため、織り上がったイメージを想定した図案を企画する事が必要。図案家は、伝統的な図柄に時代のニーズを組み合わせながら図案を描いています。

2 紋意匠図(もんいしょうず) 次に設計図を作る事が必要です。これを紋意匠図といいます。卦紙(けいがみ)という方眼紙のような紙に拡大した図案を投影させ、鉛筆で型を書き写す「マワシ」、マス目に併せて色を塗る「ハツリ」を行います。卦紙のマス目に、ジャガード織機の経糸(たていと)と緯糸(よこいと)の組み合わせを示すものです。

3 紋彫(もんぼり) 織機が紋

卦紙には糸色のほか、木地が織り易いように工夫された様々な情報や指示も盛り込まれています。

意匠図の情報を読み取って図案通りの図柄を織り上げるために、紋彫という作業を行います。紋彫とは、紋紙(もんがみ)という紙に穴を開けていくことで、経糸と緯糸が上下する位置や色糸の組み合わせといった情報を一マスずつ指定する方法です。ピアノ式紋彫機などの機械を使って、正確に穴を開けていきます。最近はこの工程をコンピュータグラフィックによる処理が普及しています。

4 撚糸(ねんし) 西陣織に使用された糸の準備では、まず撚糸と呼ばれる作業で、複数の原糸を撚り合わせ、糸の太さを調整します。様々な太さの糸を撚り出すことで、西陣織特有の風合いが生まれるのです。

5 整経(せいけい) 必要な糸を揃えたら「整経」といって経糸を織機にかけるために整え、緯糸を通す杼が通るための「綜統(そうどう)の準備をして、「製織」織機で織ります。「製織」織機で織ります。私が行っていますのは「整経」以降の作業工程です。

機織の音を聞いて育ったので

伝統工芸士の父が西陣織の仕事をしていましたので、子どもの頃から機織の音に馴染んで育ちまし



たし、学校から帰って来たら、父に頼まれて色見本を問屋さんに持って行くとお菓子を貰ったりして、家の手伝いもしていました。高校生の時に、人の為になる仕事をしたいと思って消防の試験を受けましたが、募集人員が若干名という事で駄目でしたので、家業に関係のある西陣織の袷袋や仏具を販売している会社に就職して5年間、職人さん廻りや営業に従事しました。

24歳になって家業を手伝う様になって20年になります。最初の10年は力織機を扱ってメンテナンスをやっていました。力織機だと1日(7~8時間)で2~3mは織れます。力織機3台と手機1台を父と2人で扱っています。

袷袋・打敷(うちしき)をメインに

手機を始めて13年になりますが、金襴で夏物を一年中織っておりまして、今は来年の物を織っています。経糸を4600本(2300x2)を使いますが、冬物になると8000~10000本は使います。帯の幅は40cm程ですが、袷袋は70cm巾で織っていきますので、緯糸6色なら1日に36cm位です。

お寺さんから報恩講の注文を頂いて仕事をしておりますが、偶に来月というから何とか間に挟んでほしいという注文があります。袷袋や打敷(本堂内に使う装飾

品で夏・冬物がある)をメインに織っています。

模様は40柄以上ありますので、色を変えるだけでも変わりますし組み合わせを変えると無限大です。夏物でも30色使う物から少なくとも6色は使います。一段目と二段目で色を変える事があると杼(ひ)を色数だけ用意します。使う色糸の中でも緑色だけで30色あります。これは葉の色合いを表現するためで、他の色も同じです。これらの糸は捻じれた状態の物を四杼(わく)に巻きとったものから杼に巻いていきます。

中でも金箔は裏が和紙で、截金と同じ様な細さ(3cm100切り)も自分で杼に巻きます。銀色を使う時にはプラチナ箔を使います。

金箔を隠し（表には金色が光らず、角度が変わった時にキラリと光る）に使う袷袋は、和ろうそくの灯りでキラリと美しく目が安らぎます。

納期があるので、目標通りに織り進められると良いのですが、疲れて来たり、昼食前と昼食後は違いますので、一日中同じ調子で仕事を続ける事は出来ませんが、今日は此処までと目指していてもトラブル事があるのでイラつきます。疲れて来ると調子も落ち、同じ調子で一日中は続かないので、ラジオ（音楽）を聞きながら調子を落とさずにやっています。袷袋は、金欄を切ってパッチワークのように縫い合わせて使っておられます。帯は鉄を入れられるのを嫌われますが、金欄は用途に応じて切られて、袷袋や掛軸の表装等に使われています。

子ども達に、西陣織を

自営業ですから時間の融通が利きますので、母校のPTAの会長をやらせて貰っています。15年前から、母校に織機が1台ありますので、3年生を対象に西陣織の講習をしています。1回目は西陣織を知って貰う。2回目は織機を使って体験して貰い、3回目は工場の見学をして貰う事にしています。

見学の子どもから、「給料はいくら貰ってるの？」という質問には苦笑いをしました。声をかけてくれる子ども達や卒業生が工芸織維大学に通いたい子も出て来ましたので、やっていて良かったと思っています。

息子二人も通っていますし、学校帰りに寄って私の仕事を見ています。休みは日曜日ですが、段取りが付けば土曜日の午後から休む事もあります。オン・オフが無いと駄目だと思えます。

今年度は母校の室町小学校が創立150周年を迎えますので、生徒さんがデザインした児童の絵を織りこんで仕上げました。額に入れて寄贈します。

西陣織が広がれば

地元京都市をコースとする全国都道府県対抗女子駅伝では、各都道府県チームが使用する襷とゴールテープが第22回大会（2004年）から西陣織製となっており、レース後には襷は参加賞として各都道府県に、ゴールテープは副賞として優勝チームにそれぞれ贈られています。

襷は汗が色落ちしないように染めて貰っているようで、ゴールテープはガラスケースに入れて飾ってあります。もう一つの取り組みとして、精

華大学の学生さんのデザインを西陣織で市バスのシートを作り、2台が市内を走っています。学生さんのアイデアを企業がコラボする事で、実際に仕事についても考えられるし、卒業論文も西陣織で纏められて学校が本にされました。今までも色々な商品が考えられてきましたが、若い人のアイデアで携帯のカバーやスマホのカバー、携帯本体に西陣織を使うようメーカーとコラボ出来れば良いし、世界に一つしかない物が出来れば良いなと思っています。



コラムで、現代の世相を斬る！

コラムニスト藤井氏によるニュース解説と、その背景にうごめく時代の渦を照らします。

第 66 回

ベルリン、パリ、北京

◎コラムニスト 藤井 英一

東西の壁崩壊から30年

忘れられない海外出張がある。フランスのバリ▽ドイツのベルリン▽中国の北京。歴史豊かな首都たちであり、文物が往来した絹の道に連なっている。

ベルリンは今年11月、「東西の壁崩壊30周年」の節目を迎える。戦後、資本主義の西ドイツと共産主義の東ドイツに分かれ高い壁で分断されてきたが、1989年のこの日、東西冷戦の厚い壁が崩壊。壁の上の群衆映像が世界に流れ、東西ドイツは翌年合併した。

私のベルリン行きは、1998年秋。壁崩壊時の西独大統領で統一ドイツの初代大統領も務めたワイツゼッカーさんに面会し、翌年4月の12日間の訪日講演を要請するためだった。ブランデンブルク門そばの事務所で面談。笑顔で快諾してもらった。胸をなでおろし、かつての壁跡散策をする私。門のかたわらで若者から「残りわずか。東西の壁のかけら、安いよ」と、声をかけられた。

芸術の都で書道展

そのベルリンで今年11月4日から10日まで、「壁崩壊を振り返り、思いを巡らし、そして祝う」大規模な祝祭行事が催される。ブランデンブルク門、アレクサンダー広場、旧東ドイツの秘密警察「シュタージ」本部など「分断と統一」を象徴する場所に巨大な歴史的映像や写真を投影。30年前を追体験。壁が崩れた9日には、全市であらゆるジャンルのオールナイト音楽フェスティバルがある。

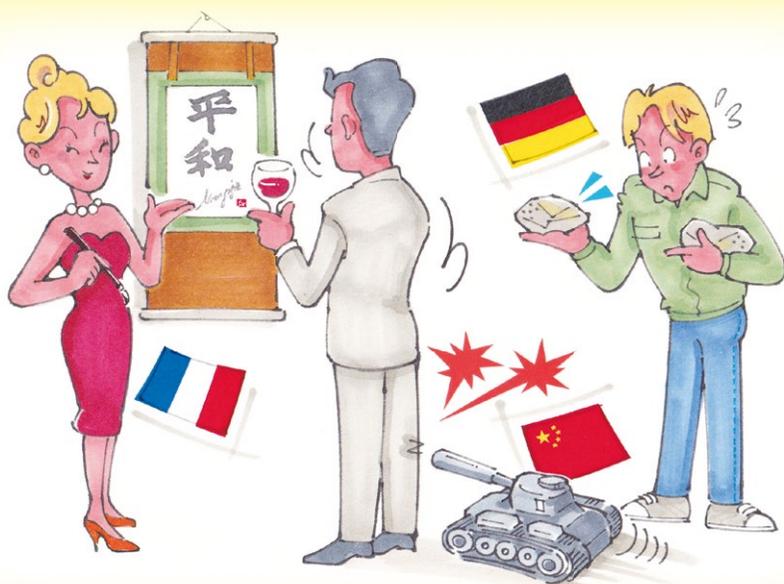
一方、芸術の都パリには、2013年10月22日から、凱旋門近くの国立ギメ東洋美術館で開催された「現代日本の書代表作家パリ展」の裏方で出張。ギメ美術館の階上には「日本室」が常設され、東洋美術展示の拠点。葛飾北斎の自画像もある。美術館ホールでの開式セレモニーでは著名書家が席上揮毫。期間中は会場で書道教室を連続開催。興味津々のパリっ子に、書の香りを伝えていた。

ナポレオンの妻が愛した宮殿のような老舗ホテルで祝宴。注がれる本場のワイン。ポイイが運びこむフランス料理。美食の都も楽しめた。

文化が往来、絹の道

北京へは近年、3度訪れた。最も印象深かったのが2011年3月下旬の高校生たちとの旅。世界の高校生を対象に毎日書道会が毎年開催している「書の甲子園」その第20回の節目に、仲川恭司「毎日書道会理事を団長に上位入賞の男女9人らとでかけた5日間の研修旅行。中国高校生とは書作交流。天安門広場そばの美術館で北京展の開催中の大楽華雪「毎日書道会常任顧問」広島県福山市、今年6月他界を訪ね、大楽さんによる作品解説を聞いた。西安や上海にも足をのぼし、書の源流中国のエキスを吸収した。

民主化求める学生ら若者が、戒厳部隊の戦車に強制排除され多数の死者と怪我人が出た1989年6月4日の天安門事件。ベルリンの壁崩壊の半年前。世界が学生たちの身を案じた。日本ではこの年1月7日に昭和天皇が崩御され、平成天皇（現上皇）が即位された。



イラスト：山田いつか

PRO

“プロ”消防士の条件

パフォーマンスと オーバートレーニング



大阪市中央体育館トレーニング室支配人 福田悟志

PROFILE

- 指導歴/
松下電器バスケットボール部、大阪エヴェッサ、西宮ストークス、ミキハウス女子柔道他
- 資格/
NSCA CSCS
TSAC-F
ISSA CFT
健康運動指導士
NR・サプリメントアドバイザー
第一種衛生管理者

パフォーマンスと オーバートレーニング

先日、兵庫県三木市で開催された消防救助技術近畿地区指導会(写真1~3)を見に行ってきました。相変わらずすごい人で、同僚の方や家族の方の応援で白熱していました。



写真1 消防救助技術近畿地区指導会会場
兵庫県広域防災センター

ところで参加された消防士の皆さんは日ごろの訓練の成果を十二分に発揮できたでしょうか。一つのミスが後に響くというのはどのスポーツでも良くあることです。消防の救助技術大会の場合は顕著にその傾向があります。多くの人がすでにコンディショニングも技術面も、さらには精神的にも最高レベルで試技に臨まれていると思います。スポーツの試合でも、その試合当日に向けてコンディショニングを最高に持っていくピーキングを意識しますが、実はこれが非常に難しい。コンディショニングのピークが試合の前日であったり、試合の翌日になったりするのはまだましで、コンディショニングが低下してしまう人もいます。

試技に対する自分の満足度・充実度というのはいくら訓練しても100%になることはありません。ここから生じる不安から練習量が增加、疲労回復が遅れオーバー

トレーニングに陥る人も多くいると思います。このオーバートレーニングの状態が本当に倒れるような最終局面寸前であれば意識はできるのですが、競技パフォーマンスが落ち始めている最初の状態では、自分がオーバートレーニングに陥っているという認識ができないということもコンディショニング調整に悪影響をあたえます。なぜなら、いつもよりパフォーマンスが低下しているということがオーバートレーニングという認識にはつながらず、練習不足という考えになってしまう人が多からず、そこでさらに練習・訓練を増やすということをやってしまう。結果は言わずもがなです。もし、この状態で大会当日を迎えてしまうとパフォーマンスの発揮は最悪になってしまいます。

以前、ジャンプ力を強くしたいというバスケットボールの選手がいたのですが、ジャンプ力を強化する

ために筋力、瞬発力の強化など総合的に実施して、高くジャンプできるようなになりました。本人は喜んでいたのでありますが、しばらくするとジャンプ力が低下してきたようで、そこで本人なりに練習量を増やしていきました。最終的にジャンプすることはおろか膝の半月板を損傷してしまつたのです。

ここで問題なのは高くジャンプする事ができるように、より高いパフォーマンスを発揮できるようになるということは、それだけ身体ストレスも高くなるということです。回復におのずと時間がかかるようになるということも併せて考えなければなりません。気持ちはわかるのですが、さらにパフォーマンスを向上させるために何回もジャンプして、さらにトレーニングも行つ、その頻度も上げるとなると回復する時間がなくなってしまう

ます。結果的にオーバートレーニングに陥り、パフォーマンスが低下、この段階で回復を意識するとまだ改善が見込めるのですが、練習不足という認識になってしまうと疲労の無限ループに突入してしまいます。この例では怪我という最悪の状態が結末を迎えてしまいました。

超回復と一般適応症候群

トレーニングや訓練は体にストレスをかけるということになります。このストレスから回復することでトレーニングや訓練効果が上がってくるわけですが、これが超回復と呼ばれているということはご存知だと思います(グラフィック)。また、ストレスに対する身体の適応を促した一般適応症候群(GAS)理



写真2 多くの人が応援されていました。人が多いため裏手に回って見学



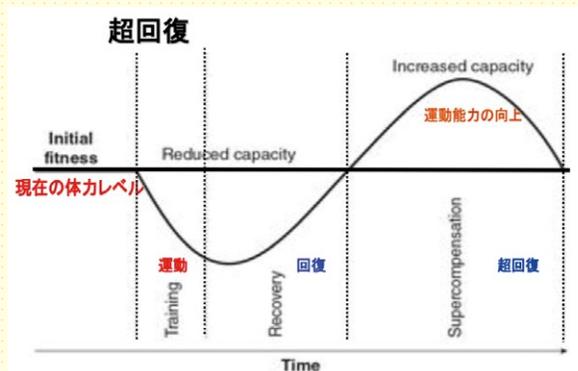
写真3 障害突破 あらゆる試技の特性が凝縮されています。

論も有名です。これはストレスに対する反応を3つに分けて考えます。
 第一段階：身体に何らかのストレスがかかり、身体がそのストレスに反応する段階 警告期
 第二段階：身体がストレスに抵抗して、回復を図る段階 抵抗期
 第三段階：一度に処理できないような大きなストレスがかかったり、小さなストレスが繰り返しかかり適応できない状態 疲弊期
 つまり、ストレスは第二段階までで処理しなければならぬということになります。第三段階はつまりオーバートレーニングに陥っている段階です。

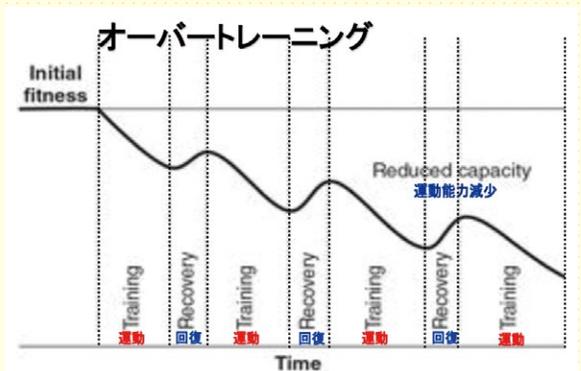
- ① 起床後の身体の拘縮度の確認。朝起きたときは誰でも身体が硬いのですが、腰やハムストリングなど特に硬い部位が認識されます。
- ② 仰臥位(仰向け)の状態得心拍数を測定、その後立位になって30秒後の心拍数を測定。普段から測定を行いその変化を確認します。オーバークワークに陥ると心拍数の回復に時間がかかります。
- ③ 握力の測定。握力計がない場合、ハンドグリップなどで代用。日々の握力の状態を確認します。疲労がたまっていると握力の発揮が低下します。

しかし、一時的な疲労でも同じような兆候を示しますから、一概にオーバートレーニングに陥っているということが認識できるものではありません。

救助技術大会だけではなく、日々の業務の中でもコンディショニングを把握しておくということは重要です。いざというときに現場で高いパフォーマンスを発揮するためには日ごろの訓練やトレーニングもさることながら、この疲労から回復するという意識も重要です。今回は疲労から積極的に回復する手法を紹介していきます。



グラフ1 強くなるのは運動や訓練が終わってからの回復する時間



グラフ2 回復を意識しないと疲労の無限ループに突入



「自己判断」、「自己責任」、を念頭に行動を…!!

9月に入り、防災訓練や防災イベントがあちこちで開催され、防災関連の本が出版されて並んでいます。

確実に今までより「防災の情報発信」が増えています。

でも世の中は、その情報を手に入れた事に満足しているだけと感ずます。実践されるべき被災の現場では全く生かされていない。先日の大阪880万人防災訓練で、エリアメールが鳴っても無言無表情で音を消す人が多く残念な気持ちになりました。

ここで恥ずかしがらずに行動出来る人は、生き残る事に繋がるのに……。

今回の台風15号はものすごい猛威をふるって関東を直撃しました。台風が過ぎ去った後、交通機関がマヒをしたり、停電があり今も復旧が望めない。(9月10日01:18現在)

駅の入場規制で果てしなく続く行列写真を見ていると、これは大阪北部地震でも見た風景でした。会社や学校に行く方法が遮断されて、駅にはものすごい人が溢れ道路も大渋滞。この中で、本当の意味で勤務先に向かわないといけな人ってどれくらいいるんだろう？本当に緊急を要する人、救急患者の方や陣痛が始まった妊婦さん。死の間際にいる病人のもとに少しでも早く駆けつけたい家族。そんな人たちがサポートする方たちが、移動する必要のない人たちのせいで、更に移動出来ない状態に陥る。これって人が起こす「二次災害」だと私は思います。

そんな中見つけたニュースは、「勤務先に向かう必要ある？上司が指示せずネットで不満の声」。防災情報がいくら発信されても、「自分

で決める」、「自己判断」、「自助」が出来なければ、このように人的二次災害が起きる。

「自己判断」なのだから、「休む」という「選択」も出来る。ただ自分がそれをしないだけ。自分がその「選択」をした結果、この果てしない行列に並んでいるかを自覚している人はいたのか？ただ当たり前のように、何も考えずに勤務先に向かって人が多かつたんじゃないかと思えます。

自分の身そして我が子を守るのは、行政や会社の判断ではなく自分自身だけ。

「自社自己判断」なら、会社や上司のせいにならず。自分で入社するかどうか、自分で決めて自分で行動する。自己判断だから、どんなに大変な目にあっても文句を言わない。必要と思ったら、思い切って仕事や学校を休む。そういう選択が出来る「心の強い人」が増えたら、減災につながると思えます。

きっと命に関わる仕事をする人は、「自己判断」「自己責任」、を念頭に行動していると思えます。

今度は市民の皆さんが、それを選択する事が出来るようになるのが必要です。私たちは「市民がその考え方を知る、それを日常に落とし込む」をしていかなければならない。私たちが当たり前前に出来ている事も訓練してきたからこそ。そのバトン市民に繋げていくのは今だ!!

あなたはこれを読んで、何を思う？どんな行動を起こしますか？

実は、誌面を通じてメッセージを送るのも年内で卒業の予定です。だから「いつか」ではなく、「今」行動してほしいと心から願っています。



10月になるとインフルエンザの流行が心配されます。インフルエンザは症状が軽いうちに、早めに医療機関でインフルエンザ治療薬を処方してもらうことが必要です。土日・平日の夜間など、このような方が、医療機関を受診する場合に救急安心センターおおさかは有効です。

このような救急安心センターおおさかの有効な使い方を一人でも多くの方に知っていただくため、大阪府内の各消防本部は、積極的に普及啓発に取り組んでいます。

そこで今月は当センターを利用されたことがある方を対象に実施したアンケートの一部をご紹介します。「救急安心センターおおさか、何を通じて知りましたか?」という質問に対する回答では、自治体の広報紙、ポスター・パンフレット等による認知が多くを占めていることから、紙媒体による普及啓発が奏功しているものと伺えます。

今後も多くの方に救急安心センターおおさかを知っていただき、自覚症状の乏しい潜在する重症者の救護など、大阪府民の安全・安心を向上させるとともに、不要不急の救急車の出場を減らすためにも、更なる普及啓発が必要となっています。

なお、アンケートの他の項目については大阪市消防局のホームページからもご覧いただけます。

大阪市消防局ホームページ【<https://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>】

【救急安心センターおおさかは、何を通じて知りましたか? (複数回答可)】

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
自治体の広報紙	430	483	484
ポスター・パンフレット等	306	320	254
インターネットからの情報 (ホームページ、Facebook等)	271	336	220
家族・友人・知人	160	194	174
救命講習会や消防機関が 開催するイベント等	97	104	78
テレビ・ラジオ・新聞	83	90	79
その他	51	55	74
回答者数	1000	1032	1000

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
8月中合計	2	2	7	32	43	3	0	0	7	53
令和元年 8月末累計	11	13	116	250	390	39	0	0	84	513
平成30年 8月末累計	10	18	99	240	367	36	1	4	92	500
累計比較	1	▲ 5	17	10	23	3	▲ 1	▲ 4	▲ 8	13

◎救急概況

	救急出場
8月件数 (概数)	22,672
令和元年 8月末累計	163,869
平成30年 8月末累計	163,121
累計比較	748

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の 消防活動
令和元年 8月末累計	2,319	798	1	827
平成30年 8月末累計	2,380	1,075	2	815
累計比較	▲ 61	▲ 277	▲ 1	12

様々な事案から災害活動を振り返る

今回のテーマ

G20大阪サミット警戒時における 指令送受信端末装置 D-Fighterの活用について

COMMAND
EYE

指令情報センター

はじめに

2019年6月28日から6月29日にG20大阪サミットが開催された。G20サミットの日本開催は初であり、開催に伴い、当局では大阪市内はもろろんその周辺におけるNBC災害等の発生に備え消防特別警戒を実施し、警戒体制の確保に万全を図った。

消防特別警戒の期間は、2019年6月24日から6月30日の7日間で、警戒車両253台、航空機6機、消防艇5艇、警戒人員997人で警戒を実施した。

G20大阪サミット開催に伴い、サミット関連施設、要人等移動経路、その他各所で発生した災害に、迅速かつ確実に警戒隊等が出場できるよう出場指令要領が定められた。出場指令時の使用機器は、各消防本部(局)の消防指令情報システム、大阪市消防局消防情報システム、デジタル無線機、サミット警戒用携帯電話、そして今回、警戒隊への指令送受信端末装置(D-Fighterパソコン)・警戒隊への指令受信端末装置(D-Fighterスマートフォン)が整備された。

導入目的としては、統括警戒本部(大阪市消防局)における、警戒隊(大阪府内27消防本部、他府県34消防本部)の一括した災害出場指令の送受信及び動態管理を実施する

ためである。

そこで今回は、警戒隊への指令送受信端末装置(D-Fighter)の活用について紹介する。

D-Fighterの概要

D-Fighterとは、地図の情報が統合され、当該情報を閲覧することができるWEBサイトであり、D-Fighterの連携により、出場部隊の動態や活動状況を効率よく把握するためのシステムでD-Fighterでは、次のことができる。

- D-NET WEBの地図上に表示された災害情報を元に、D-Fighter指令アプリを使って出場部隊を編成し、出場指令を发出できる。
- 出場部隊は、D-Fighterアプリで出場指令を確認できる。
- 出場部隊の動態は、D-Fighterアプリの操作により報告されるので、統括警戒本部指令情報センターでは最新の車両動態を確認できる。
- 出場部隊との連絡は、テキストメッセージだけでなく、写真や動画などの送受信も可能である。
- 各警戒隊の警戒場所(咲州消防警戒範囲1、咲州消防警戒範囲2、



KEEP OUT CAUTION

KEEP OUT CAUTION KEEP OUT KEEP OUT CAUTION KEEP OUT KE

KEEP OUT CAUTION KEEP OUT KEEP OUT CAUTION KEEP OUT

● D-Fighter パソコンで D-NET WEB のサイトにログインし、D-NET WEB にアクセスする。

D-Fighter を活用した出場指令要領

指令送信端末装置
(D-Fighter パソコン)



D-NET WEB



D-NET WEB を活用した情報共有



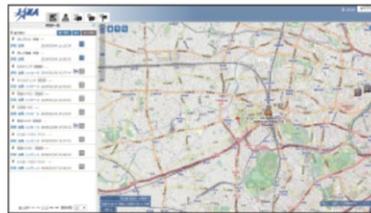
指令受信端末装置
(D-Fighter スマートフォン)

咲州消防警戒範囲3、北南、西エリア、高速道路、大阪国際空港、関西国際空港、要人宿泊施設)の指令分類がコード化されており、任務コード表を入力することにより、隊編成の自動編成が可能である。

首脳6_AA_AG_AI_AK_AO_AP_AV_AY

車種の別名 (首脳1~首脳44) 出場部隊の割当記号 (AA, AB, ...BA, BB)

出場指令画面



出場部隊の動態はアイコンの色で示されます。

動態	アイコンの色	動態	アイコンの色
災害出動 (災出)		待機	
現場到着 (現着)		終了	
署外活動 (署外)		不能	
搬送開始 (搬開)		初期	
病院到着 (病着)			

● 出場部隊を編成するため、D-Fighter 指令アプリで対象任務のトークルームを開設する。
● 各警戒エリアの出場隊を編成する。出場車両を効率よく編成するため、発生場所エリアにおいて、あらかじめ出場車両の割当記号を設定されたキーワード入力することで容易に出場隊を絞り込むことができる。

● 出場部隊を編成するため、D-Fighter 指令アプリで対象任務のトークルームを開設する。
● 各警戒エリアの出場隊を編成する。出場車両を効率よく編成するため、発生場所エリアにおいて、あらかじめ出場車両の割当記号を設定されたキーワード入力することで容易に出場隊を絞り込むことができる。

● 現在位置から災害点までのルート案内が表示される。
● D-Fighter 車両アプリ操作において、出場部隊の動態管理が D-NET WEB 上で表示され、出場部隊等の動態管理を実施する。

おわりに

今回紹介した、警戒隊指令送受信端末装置(D-Fighter)は、従来消防防災ヘリの動態管理システムとして使用していたものをG20サミット警戒時における指令送受信端末装置として活用できるよう、

JAXAと大阪市消防局が協議を重ねて改良したものである。導入に至るまでには、大阪市消防局で使用している消防情報システムを基に災害出場指令の送受信及び動態管理のノウハウを伝授し、さらにはメッセージや写真・動画の送受信機能を搭載するなど、次期消防情報システムを検討するにあたり付加したい機能である。

G20サミット警戒中の救急事案等において、出場警戒隊の現場情報を速やかに統括警戒本部(指令情報センター)へ送信し、情報共有を図ることが出来た。

また、災害現場での画像や動画をいち早く送信することにより、災害現場状況の把握等、今後の災害においても活用方法が多岐にわたると考えられ、災害現場と警戒本部(指令情報センター)の情報共有による連携強化は、早期の状況把握により、災害現場の被害軽減に大きな効果があると考ええる。

今後、2025年に日本国際博覧会が大阪市此花区で開催予定であり、多数の来場者が見込まれる中、複雑多様化する各種災害に、このようなシステムを効果的に活用し、災害現場の早期の状況把握及び現場活動の初動体制を強化し、迅速かつ確かな消防隊の活動体制を確立することで、複雑多様化した各種災害に対応し、被害の軽減を図ることが出来ると考ええる。

(文責 北埜)

調査 鑑識

子防部子防課

今年7月に初任教育のカリキュラムのうち、約3時間の一寸を予防課（調査鑑識）の係員が講師を勤めた。研修内容は、火災調査の目的や重要性を伝えることに加え、火災のメカニズムを理解してもらうことも意識した構成とした。本稿ではこの授業内容を紹介する。

今回のテーマ

第106回初任教育に係る 講師派遣

▼はじめに

消防職員にとって、火災調査の目的の一つが「類似火災の防止」であることは言うまでもないが、火災調査未経験の初任教育生にとっては、このことを実感するまでには至っていない状況にあると思われる。また、近年は火災件数そのものが減少傾向にあることから（図参照）、今後、これまでに多くの職員が積み上げてきた火災調査の知識や経験の伝承が難し

いと予測される。この現状を踏まえ、調査鑑識では打開策の一つとして、疑似的に火災調査経験を繰り返すことが必須であると考えている。そこで、初任教育生には、消防における火災調査の重要な位置づけ（目的や基礎的事項）を理解してもらい、実験を通して火災現象を観察することで、火災調査の一端に触れてもらうこととした。

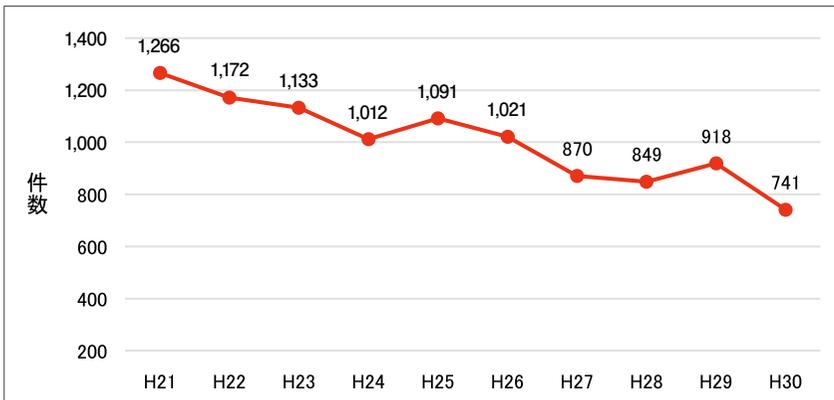


図 過去10年間における大阪市の火災件数の推移

▼概要

講義科目

火災原因調査

日時

令和元年7月4日(木)

13時50分～15時30分

15時50分～17時30分

令和元年7月5日(金)

13時50分～15時30分

15時50分～17時30分

実施場所

大阪府立消防学校

▼研修内容

約3時間の講義のうち、前半の座学は「火災調査」の基礎（根拠法令、調査の目的等）をパワーポイントで実施した。内容としては、火災調査が目指す大きな目的の一つが「類似火災の防止」であり、火災調査の一件、一件の積み重ねが大きな資料となり、種々の火災



予防策に繋がっていることを伝えると同時に火災調査の基礎的知識、やりがい等を教示した。

後半は、火災発生メカニズムを理解してもらうことを主に、様々な条件下において火災実験を実施した。実験内容は以下のとおりである。

危険物の燃焼状況の比較

ビーカーに入れたガソリンや灯油に火のついたたばこを投入し燃焼状況を観察する

たばこ火災

火の点いたたばこを様々な材料上に配置し、燃焼状況を観察する

北川式ガス検知管の使用要領

ガソリン、灯油を染み込ませた布を袋詰めにし、北川式検知管で測定する

電気ストーブ火災

電気ストーブに物が触れ

るケース及び近接するケースを観察する

トラッキング火災

コンセントプラグにおける出火の仕組みを観察する

粉塵爆発

ガラスケース内におが屑を対流させ燃焼状況を観察する

小型模擬家屋における燃焼実験

小型模擬家屋を使用し、



座学風景

火災の初期から最盛期に至るまでの煙及び炎の変化を観察する

▼おわりに

火災調査において、焼けの状況や関係者等から得られた情報を、文章や写真として記録に残し、原因判定を行うことは、時間と労力を要し、かつ、責任も伴うことを勘案すると



実験風景①

決して楽な業務とは言えず、不安を覚えるのも無理はない。しかし、火災調査の根幹を理解し、その重要性を認識することができれば、このような不安は自ずと消えていくものと考えられる。今回、縁あり講義を受講していただいた200名の初任教育生が、大阪の火災調査を担う人材に成長していくことを切に願う。(文責 工藤)



実験風景②



RESCUE VOICE II

～ 初期情報での判断 ～ (No.16)

▼ 事案概要

本事案は、商店街沿いの鉄骨造陸屋根A1C版張4階建の併用共同住宅の2階202号室において、1室20㎡焼損した火災で要救助者が4名、負傷者7名が発生した事案である。

◆ 覚知日時

平成31年3月28日(木)

◆ 指令時刻

18時48分

◆ 消防隊到着

18時48分

先着消防隊 Y 消防隊 18時52分

先着救助隊 Y 救助隊 18時54分

◆ 要救助者

1 202号室 誘導 4名

2 403号室 N救助隊 誘導

3 407号室 Y救助隊 救出

4 306号室 Y救助隊 救出

◆ 負傷者 (負傷者として計上せず)

1 203号室 自力避難 7名

2 205号室 自力避難

3 205号室 自力避難

4 206号室 自力避難

5 202号室 要救助者①

▼ 指令～出場途上

夕暮れ時、Y消防署に乾いた火災のトーンが鳴り響いた。「火災指令 Y管内 建物火災」4階建て共同住宅2階部分出火との指令を受け、Y消防署の救助隊として出場した。

出場途上で、指令情報センターから、「4階ベランダに要救助者あり」との付加情報を受信した。K隊長は、自隊が先着救助隊である可能性が高いと判断し、玄関側とベランダの二手に分け、隊長と機関員の2名で出火室の検索、副隊長と隊員の2名で三連はしごを搬送しベランダ側の要救助者を救出する活動方針を決定し隊員に周知した。さらに、検索、救出及び破壊等の活動に備え、ロープバッグとエンジンカッター等の必要資器材の搬送を指示した。その時、最先着消防隊からの「煙気あり」との無線が入り、現場へ急行する車内はさらに緊張感に包まれた。

▼ 現場到着～主な活動

～ 玄関側の活動 ～

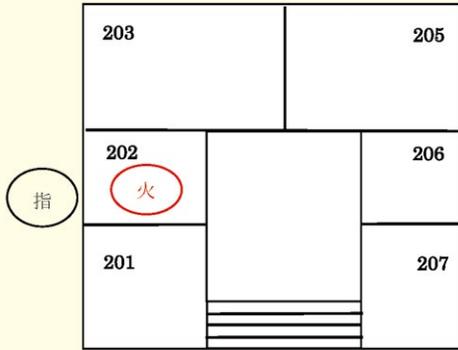
現場到着時、災害点北側に車を停車させ、発災建物に向かうと煙気は確認できたが、商店街のアーケードに視界が遮られているため2階部分から上階は視認できなかった。対象物の屋内階段で2階に至ると、中廊下式であったため、濃煙が屋内階

～ ベランダ側の活動 ～

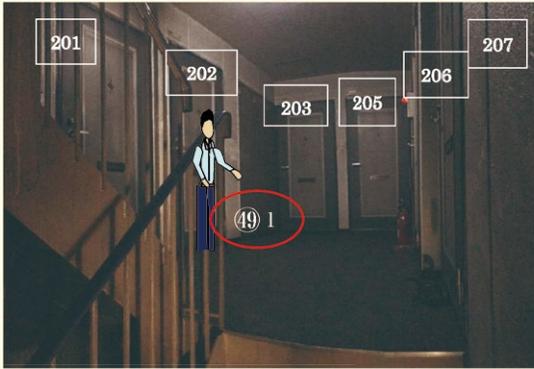
段を伝って上階に上がっていることが見て取れた。2階共有廊下部分の上方は表札も確認できないほどの濃煙と熱気であったが、人の気配を感じた。中廊下を奥に進むと、苦しそうにうずくまっている男性1名を発見。その男性は、部屋を指差しており、指差された玄関ドアを少し開けてみると、煙が勢いよく噴き出してきたため、ここが出火室であると断定する。男性は出火室の居住者で、単身であることが判明、すぐさま要救助者情報と燃焼状況無線で即報するとともに、男性を地上へ誘導した。その途中に副隊長から「ベランダ側の要救助者2名確認、消防隊と協力し救助にあたる」という無線報告を傍受した。機関員とともに再び出火室に向かうと、Y消防隊及びN救助隊と2階で合流した。N救助隊には上階ベランダで自隊が救出活動中である旨を伝達し、検索及び救出協力を依頼した。その後、Y消防隊を出火室まで筒先誘導し、出火室及び2階部分の検索を実施した。

隊員2名は三連はしごを搬送しながら背面ベランダの状況を確認。煙に煽られているベランダから必死に手を振り、助けを求めめる要救助者2名(306号室、407号室)を発見。消防隊や救急隊と連携し、煙の少ない305号室ベランダに三連はしごを架橋し、隊長に状況

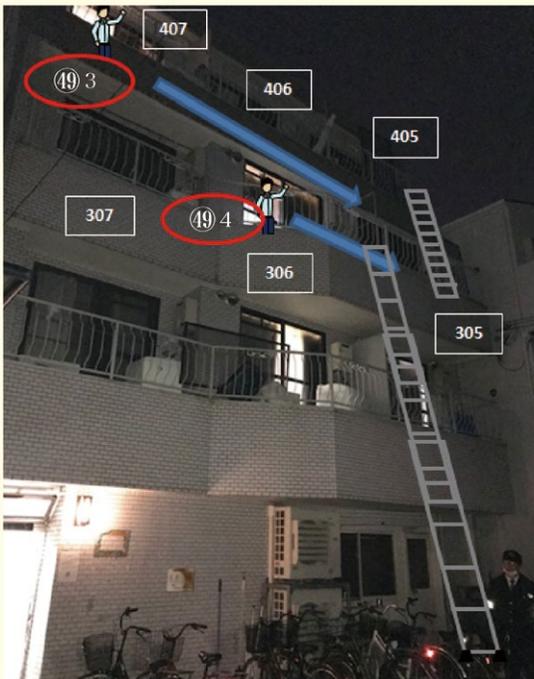
2階平面図



2階共有廊下



背面ベランダ



を無線報告後、306号室の要救助者に対して、パーテーションを破壊して305号室ベランダへ避難するように地上から促した。そして三連はしごを登はんし、306号室の要救助者を305号室ベランダにて確保、その要救助者に煙の状況について説明し、その場に一時的に待機させた。並行してK救急隊に対して、地上から拡声器を使用して、407号室の要救助者にパーテーションを破壊して405号室ベランダへの避難を促すよう依頼した。

そして、屋内階段から4階ベランダに到着したN救助隊と協力し、セットバックになっていた305号室から405号室に折りたたみ式はしごを架梯、かかえ救出で407号室の要救助者を305号

今回の事案は、2階の出火室から発生した煙が、屋内階段を伝って上階に昇り、中廊下で滞留した煙と熱により、2、4階の玄関側から避難できなくなった多数の要救助者がベランダ側から助けを求めている状況であった。小規模でかつ中廊下式の建物は過去に経験したことのある現場ではあったものの、指令段階や走行中の、「2階出火、4階に要救助者あり」という付加情報を明確な活動イメージに繋げることがで

▼ 事案を振り返って

室ベランダへ降ろし、三連はしごにて地上へかかえ救出。その後、306号室の要救助者を三連はしごにて地上へ救出した。

今回の課題は、自隊を二手に分けたことにより、早期に救助活動を同時に着手することで、いち早く救出誘導に至った半面、出火階に複数の要救助者がいた場合など二手に分かれることによるリスクも常に考えておく必要がある。また、今回のように、中廊下式での濃煙熱気の下において、ベランダ側要救助者の救出活動が出火階の検索より緊急度が低く、検索を優先しなけ

きなかった。これは、後着救助隊への指示や状況判断の遅れにもつながった。

帰署後、事案を振り返り、先着した場合に、自隊のみでの活動の許容範囲、要救助者と対面時の対応、他隊との連携の必要性等のミーティングを行った。

ればならない場合など、濃煙による活動の困難性の認識や排煙による環境改善などの活動を考慮しなければならぬ。

少ない情報の中で、状況判断を迫られるケースは、災害現場ではよくあるといってもいい。そのような状況の中、よりの確な判断をするのは自身の経験によるところが大きいが、経験を重ねるまで災害現場は待ってくれない。それを補うには、チーム力を上げていくことが必要である。さらに、より多くの過去の事例から学び研鑽し、訓練を積み重ねることが重要であり、そのことを改めて感じさせてくれた現場であった。

(文責 小林)

大阪府立消防学校 第106回初任教育生 ～実科査閲・修業式に向けて～

4月の入校から半年間の教育訓練を終業します。

10月には各所属消防本部へ配属となり、市民の生命・身体・財産を守るプロの消防士としてまた新たにスタートします。

泣いて笑った半年間、寝食を共に過ごした仲間達との別れが刻々と近づき、不安と期待が交差する中、また新たな一歩に向け一日一日を大切に過ごしています。

入校当初とは体力的にも精神的にも見違えるほど成長した姿を御家族の皆様、各所属消防本部の先輩方に御披露すべく、終業を迎える最後の最後まで訓練を重ねています。 (文責 吉川)



新たな一歩に向けて!!



楽に分つて楽しい古典

楽楽大坂弁万葉講座

(万葉研究家) 中村 博

(作者略歴) 犬養孝教授の万葉集講義を受け、「万葉の旅・犬養孝著」掲載故地309カ所完全踏破。犬養先生揮毫歌碑142基全探訪。万葉歌4516首の関西弁訳完成「万葉歌みじかものがたり」十巻刊行。「大阪消防」平成30年8月号「いらっしやい大阪消防です！」参照。



(第九回)

うちのが思い 深いで皇子様

額田王 鏡王女は これ姉妹
中大兄皇子は 額田王の旦那
いろいろ複雑 ことがある

元々 額田王の恋人は
中大兄皇子の弟の 大海人皇子で
中大兄皇子と 恋仲やったんは
姉の鏡王女や

まあややこし話放つといて
歌の話に行こうかい

「姉上 どうしたのですか」
額田王は

笑みのこぼれる鏡王女に声をかけた
「文が 来たのです」
「まあ 久しく なかった便りが・・・」

《高安山の上 お前の家が あつたらな
お前を思て 見てられるのに》

妹が家も 継ぎて見ましを

大和なる 大島の嶺に 家もあらしを
—中大兄皇子—

(大島の嶺 生駒の南に続く信貴山の一峰 高安山?)

「飛鳥の 私のもとに 来られないのを

こうして 思いやつて下さる

皇子さまのお気持ち

大切にしないでとは 思うのです

わたし 返し歌を作りました

歌上手の お前に見せるのは

恥ずかしいけれど」

《木の下を 潜り流れる 水みたい
うちのが思い 深いで皇子様》

秋山の 樹の下隠り 遊ぶ水の
我れこそ益さめ 御思ひよりは
—鏡王女—

額田王は 微笑ましく思った

(姉は 年嵩なのに 私より 可愛いわ

姉の思い 皇子に 伝わればいいが・・・)

運命の悪戯か

後 額田王は 中大兄の寵愛を受け

鏡王女は 藤原鎌足の正妻に・・・

『令和天翔け万葉歌みじかものがたり』より

どうでつか

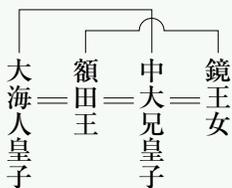
中大兄皇子の歌よりも鏡王女のほうが

ずっと巧いと思いまへんか

そう思えたら

あんたも良えセンスしてまっせ

藤原鎌足





環状線

LOOP LINE



Pick Up

浪速

We Are The World

8月16日から17日にかけて、「JICA 救急救助技術研修」の一環として、当署においてJICA 研修員の消防署実務研修が行われ、アジア7カ国から8名の方が参加しました。

研修員の皆さんは14時ごろに消防署に到着し、署長への表敬を終えると、署員の指導により教養、訓練を実施しました。全員がそのひとつひとつに一生懸命取り組み、その姿からは、少しでも多くの知識や技術を自国に持って帰ろうという熱い気持ちが伝わってきました。

夕方に訓練を終えると、署員と一緒に夕食を摂りました。研修員の皆さんのために署員が準備したメニューは「野菜カレー」にトッピング

は「魚のフライ」。よほど気に入ってもらえたのか、何度もおかわりしている姿が印象的でした。

その後、研修員と職員との交流会が行われました。通訳を介しての交流会でしたが、活発な意見交換ができ、様々な文化や環境の違いがある中で、「人を救いたい」という思いは同じだということを感じました。

大きな火災などが発生すれば、現場活動を視察できるよう、消防署で仮眠をとり待機していましたが、今回はそのような事案はありませんでした。

今回の研修を通じて、世界と同じ思いを持つ仲間たちと交流の場を持つことができ、署員にとっても大変貴重な経験となりました。(藤森)



福島

ふくしまてんこもり2019

7月7日、当区の魅力とポテンシャルに触れる機会を提供し、継続的に健全で安全、安心なまちづくりと街の活性化を図ることを目的としたイベントに当署も参加しました。

当日は、朝日放送㈱の駐車場一角をお借りし、来場者に「火の用心アプリ」の啓発促進及びミニ消防車との記念撮影を楽しんでもらいました。

梅雨入りの暑さ厳しい中での和やかな笑顔が開花した一幕でした。(井上)



北

高齢者の方も火の用心

8月8日、堀川地域活動協議会が高齢者を対象にして食事を提供する「食事サービス」において防火研修会を実施しました。

火災の怖さを再確認していただくため、食事の前に防火の話と火災発生の実験映像等を見ていただき、住宅火災で亡くなられる方の9割が65歳以上、また1人暮らしで居室で亡くられているケースが多いことを説明し、改めて住宅用火災警報器の設置とすでに設置済みのお宅は、点検をお願いしました。(内山)



此花

ご協力ありがとうございました

7月22日、人通りの途絶えた深夜、河上雅志さんは自宅の裏側からガラスの割れるような音で異常を感じ、直ぐ見に行ったことにより早期に火災を発見し、的確な通報、近隣住人に避難を呼び掛け、到着した消防隊を玄関まで誘導していただきました。そのおかげで迅速な救出と消火が行え、被害を軽減することができました。河上さんの協力が無ければ大きな被害が出ていたかも知れません。

この功績を称えて感謝状が贈呈されました。ご協力ありがとうございました。(政岡)



都島

救命講習受けてますから!!

さる5月30日、J Rの電車内でC P A事案があり、2名の駅員さんが迅速かつ適切な応急手当を実施し、見事に心拍が再開しました。

その功績に対して7月22日、署長感謝状が贈呈されました。

お二人は、普通救命講習を受講されており、平素から救命に対する意識も高く、上司の方より「JR西日本大阪支社内全体で人命救助について、より意識を高めていきたい」と心強いコメントを頂戴しました。(坂本)



港

管内解体中校舎で、実践訓練

7月23、25、26日の3日間で、市立田中小学校にて解体中校舎を使用した中隊訓練及び署々間連携訓練を実施した。

より実践に近い訓練を行うため、訓練内容はブラインドで実施したことで、訓練の目的である情報管理、各隊との情報共有が如何に重要であるか再確認できた訓練となった。また、他署との合同訓練を実施することで、自隊で保有していない資器材の取扱説明を受け、操作訓練することができ、貴重な経験となった。(今野)



中央

夏の大阪をご安全に！

猛暑となった8月。熱中症対策を呼びかけるため、大阪城天守閣前にて2年連続となる啓発イベントを行いました。

日英中韓4カ国語で熱中症対策等について記載したうちわを2000本配布。会場にはミニ消防車、ミスト発生器、煙テント、防火衣装着体験コーナーなどを設置し、観光客の皆さんからも好評でした。

ますますインバウンド防災対策の必要性が高まる大阪。当署はこれからも様々な施策を実施していきます！(川勝)



大正

中学校教員体験研修

管内の中学校から8月7日、8日の2日間に渡り、6人の先生達が体験研修で来署されました。

初日は、猛暑の中をロープ渡過など救助訓練を行った後に現場外套を着て可搬式ポンプ操作訓練。2日目には心肺蘇生法など救命処置訓練。先生達は限られた時間の中で、災害対応の訓練を消防隊員や救急隊員から熱心に受けました。

夏真っ盛り！先生達は災害や事故から学生を守るために頑張ってます！（野村）



西

九条フェスタに参加

7月27日、キララ九条商店街において恒例の「九条フェスタ」が開催され、当署も参加してまいりました。

セイバーミライとミニ消防車によるパレード参加に始まり、初期消火体験、119番通報体験にも多くの方々にご参加いただきましたが、一番好評だったのは当日の厳しい暑さのせいもあり、啓発物品としてお配りした「うちわ」だったかもしれません。(線崎)



淀川

暑さに負けず、目指せ近畿隊員！

8月、連日35℃を超える猛暑が続く。署庭から気合のこもった声が響く。

今年は消防救助技術近畿地区指導会に5名の隊員を送り込んだ。「来年は自分が！」と、若い隊員が真剣に訓練に取り組んでいる。そこで気になるのが熱中症！

その対策として、大型扇風機を設置し、冷蔵庫にアイスパック、何時でも給水出来るように大型ウォータータンクを準備、支援員は常に隊員の動向に注視し見守る。

暑さに負けず、励んで目指せ！近畿隊員。
(高嶋)



天王寺

親と子の防災体験セミナー(災育)

8月4日、大阪赤十字病院の「親と子の防災体験セミナー“夏休み親子で始めませんか(災育)”」が開催された。

この催しは、小学校高学年の児童とその保護者を対象として自分の身を守る「自助」の重要性を伝えるとともに、いざ災害が発生した時に家族で対応できる「共助」を考えてもらうきっかけとし、毎年実施されているものです。

当署では、震度7・煙中・消火の体験、そして車両展示等を担当し、参加者からもとても好評でした。(大西)



東淀川

頑張れ!! 2歳の消防士

1月のある日、当署にかわいいお客さんが訪れました。

名前は大輝(だいき)くん。彼は長期間入院をして病気の治療を頑張っています。そのご褒美として、一時退院の時に大好きな消防車に会いに来てくれました。

その後、1か月に1度のペースで訪問があり、5月には「治療は続くけど退院したよ」と嬉しい報告をしてくれました。

署員一同、大輝くんが病気に打ち勝つその日まで応援しています。そして、将来大好きな消防車に乗って活躍する大輝くんを楽しみにしています。(和田)



西淀川

さらなる救命技術の研鑽へ！

7月17日、18日に当局7階講堂において開催されました救急救命技術研修会に、当署から1部救急隊の上田司令補、木村士長、徳田士長の3名が参加しました。

今年はG20サミットの開催で、練習期間がいつもより少なかったのですが、他の署員の方達にも協力していただき、救急出場の合間を縫って夜遅くまで訓練し無事終了することができました。

これを機会に、今まで以上にチームワーク、救急活動の大切さ、救命技術の研鑽に努めて頑張っていくと署員一同、一致団結しました。(山陰)



旭

水難救助訓練

当署では、万が一の水難事故に備え、毎年8月に淀川左岸において水難救助訓練を実施しています。

旭区は、区を横断するように城北川が流れ、また、淀川の川辺には天然記念物の希少種「イタセンバラ」が生息する湾^{わんど}処があるなど、市民が楽しめる水辺に恵まれたところです。

そのため、残念ながら毎年水難事故が発生しています。

水難救助訓練は、市民の命を守るため、年齢や経験に関係なく警防隊員全員が参加して繰り返し行われ、今年も万全の態勢で水の事故に備えています。(近藤)



東成

笑顔で溢れるカーニバル

8月3日、大阪市立東成区民センターで「こどもサマーカーニバル2019」が開催されました。

当署も次代を担うこどもたちへの火災予防普及啓発として、ミニ消防車の展示、防火・防災に関する広報活動を実施しました。

厳しい暑さの中、多くの親子が訪れ、笑顔でミニ消防車に乗り込む子供たちの姿に、職員たちも笑みがこぼれ、笑顔で溢れる1日となりました。(小島)



城東

暑さ真っ盛り 頭に頭巾

8月9日に管内のダイナガ株式会社において、南海トラフ巨大地震をイメージした消防訓練が行われました。

暑さ真っ盛りの中、参加した従業員約80名は、終始緊迫した中で訓練に取り組んでおられました。

初期消火や応急処置、中でも安全迅速な避難行動を見て、大災害でも苦難に立ち向かっていける事業所の力強さを感じ、心にズキンと響きました。(高田)



生野

チームワーク

1部本署ST小隊が、管内で発生した火災における現場活動の功績を称えられ、署長より表彰状を授与されました。ベテラン、中堅、若手の見事なチームワークにより、イレギュラーな事態にも臨機応変に対応し、被害の軽減に貢献しました。

隊員の若手二人は、配属されて間もない1年目と2年目。今回のことは彼らにとって貴重な経験となるでしょう。

これからも日々精進する気持ちを忘れず、先輩方に早く追いつけるよう、今後の更なる飛躍に期待しています。(中村)



住之江

ストロング平林

本年10月より指定消火隊として運用されることとなり、平林ST小隊はやる気に満ち溢れ、知識技術の一つでも吸収しようとする貪欲な獣と化して日々救助訓練に励んでいます。また、体力面での強化を図るため、外套と呼吸器を着装し10kgのダンベルを持って階段を走った後、呼吸器を着装したまま懸垂をするといった訓練も実施しています。

市民の期待に応えるため、今の勢いのまま日々進化していきます。(吉田)



鶴見

子ども達を守れる先生に

猛暑の8月に、新任2年目の小中学校の先生2名が、当署に研修に来られました。

「いざという時に、子ども達を守れるように」、「子ども達に防火・防災の大切さを伝えられるように」という願いをこめて、我々消防職員は研修を実施しました。研修内容は阿倍野防災センター見学、普通救命講習、救助訓練、消火訓練となかなかハードな内容でした。

研修で学んだことを是非、学校の授業等で子ども達に伝え、いざという時には、先生が率先して子ども達を守ってください。(犬塚)



住吉

住吉さんの夏祭り

大阪三大祭の一つ、住吉祭が今年も7月30日から8月1日に開催されました。

当署では、指定催しに伴う露店検査を実施するとともに、巡回警戒を実施し参拝される市民の安全に努めました。

最終日には、火縄銃の号砲で神輿渡御がスタート、大阪一の大神輿が猛暑の中「べえら!べえら!」の迫力ある掛け声と共に管内を渡御し、その迫力に圧倒されると共に、市民の安心・安全のために今一度身を引き締める決意をしました。(山口)



阿倍野

令和初めての近畿地区指導会

7月20日、第48回消防救助技術近畿地区指導会が開催され、当署からは11名の隊員が出場した。指導会当日に向けて、7カ月間の厳しい訓練を乗り越え、全隊員が「日本一」という目標を胸に本番に臨んだ。

当署には、初めて訓練に参加する隊員が5名いたが、ベテラン隊員の指導のもと、日々切磋琢磨した。

当日は悔しい結果となったが、訓練で培った体力・気力を十二分に発揮し、今後は所属を盛り上げていく。(橘)



西成

弘治盆踊り大会で啓発活動

8月24日、旧弘治小学校で盆踊り大会が開催されました。

朝から降り続いた雨も夕方には回復し、会場では太鼓が打ち鳴らされ、櫓を囲み地域の方々が音頭に合わせて浴衣で踊る姿は、まさに河内音頭の歌詞にもある「おじいちゃんやおばあちゃん 男前やら別嬪さん 差し手引き手も色模様」のように映りました。

盆踊りを楽しむ傍ら、まだまだ熱中症が心配される子どもや高齢者に対しては防火防災の火の見櫓をもって見守る大会でした。(高田)



東住吉

新任教員研修

8月8、9日の2日間、管内の小学校3校から、新任教員の職業体験の依頼がありました。

小学校にとっても横の繋がりができる為、3校同日に行いました。初日に消防署の業務や取組みを学んでいただき2日目は要救助者体験やはしご車搭乗体験、また、教育現場でのいざという時に備え、救命講習の知識と技術を身につけてもらいました。

未来ある子ども達を守るのは、この頼りある先生方です。(福島)



水上

救命の連鎖に感謝状

平成最後の月に、大阪港駅で一人の男性が突然倒れた。

駅員の高村氏は倒れた男性に駆け寄り、反応も呼吸も無いことを確認、すぐに119番通報を他の駅員に指示し、駅に設置されているAEDで早期に電気ショック、胸骨圧迫を実施した。しばらくすると自発呼吸が現れ、到着した救急隊に的確に情報提供を行い、救命センターへと搬送された男性は一命をとりとめた。

この見事な救命の連鎖を称え、署長より感謝状が贈られた。(雨森)



平野

新任教員消防署で研修！

大阪市教育センターでは、新任教員の社会研修としてさまざまな事業所での体験研修が行われています。当署にも管内の小中学校から男女5名の新任教員が来署されました。

消防の仕事、特に応急手当の説明では完全にマスターしようとする姿は正に、お手本となるものでした。気温も高い中、防火服装の着装訓練や放水訓練を実施し、極めつけはロープ渡過訓練。最初は高さに驚いていましたが、全員無事に渡り切ることができました。

その意気込みで未来の担い手である生徒の育成も頑張ってください！(彦川)





堺市消防局

変更工事認定事業所制度の推進 について

堺市消防局では、事業所の自主保安体制の向上と当消防局の行財政改革を同時に図ることを目的として、変更工事認定事業所制度を平成27年4月から運用しています。

この制度は、石油コンビナート等特別防災区域内の事業所が、工事の際、変更工事の確認届を事前に提出し消防による確認を受けていた事項を、自主的に確認できると市長が認めた事業所に対しては、事後に資料を確認すること等で足りるとする制度です。

この制度の活用により、事業所は、事前の届出が不要になることで休日等の突発的な工事に対応できるとともに、認定継続のため自主保安活動が促進されています。消防は、届出数減少により生み出された時間を活用し、管内で発生した事故について「事故情報等共有シート」を作成し、類似事故防止に向けた事業所への注意喚起を行うなどの新しい業務を行っています。

以上の取り組みにより、第3回予防業務優良事例表彰、消防庁長官表彰を受賞しました。



枚方寝屋川消防組合消防本部

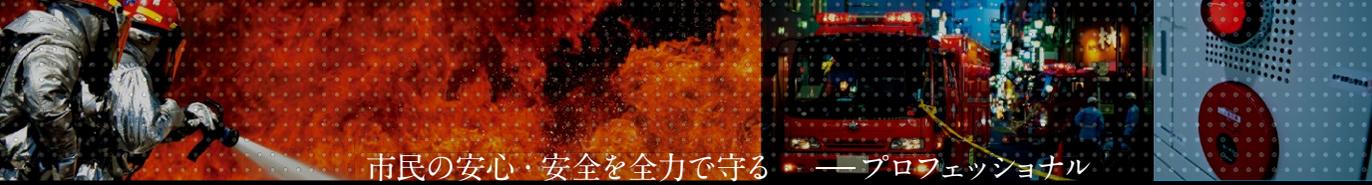
自動ブレーキ装置搭載の火災原因 調査車の運用を開始！

本消防組合では、平成31年3月22日から新型の火災原因調査車((株)トヨタテックス製作)の運用を開始しました。

この車両の作製にあたっては、デザインやレイアウトなど調査隊員の意見を拾い集めることで、先進的な鑑識、測定資器材が積載された火災原因調査を行うことに特化した車両となりました。

また、本消防組合の緊急自動車では初めて車線逸脱警報や自動ブレーキ等の先進運転支援装置を搭載するとともに、扉開放時の接触等による事故を防ぐため、フロントドア側面にLEDライトを配することで、車両運行中のみならず、乗降時の安全性を向上させました。

火災現場での発掘作業は長時間にわたることがあります。過酷な検証現場に臨む調査隊員たちの精神的・肉体的ストレスを少しでも軽減し、火災原因の究明に集中するという熱い思いが込められた車両です!!



市民の安心・安全を全力で守る — プロフェッショナル



大阪狭山市消防本部

危険物安全月間に伴う合同訓練を実施

大阪狭山市消防本部では、「大阪府危険物安全月間」に伴い、管内の危険物を多量に保有している事業所との合同訓練を実施しました。

この訓練は、事業所内で貯蔵している危険物が漏洩し火災が発生したとの想定で実施され、119番通報及び避難誘導をはじめ、自衛消防隊による消火活動と傷病者の救出訓練を行いました。

また、消防隊、救助隊及び救急隊は、危険物による火災が発生し傷病者多数との通報により出動し、泡消火薬剤による消火活動を実施するとともに人命検索、要救助者を屋外へ救出した後、救急隊による応急処置等をそれぞれ行いました。

この事業所では、精密機器等に多量の危険物が使用されており、ひとたび火災が発生すると大規模な災害となる可能性があることから、自衛消防隊が組織され消火訓練等にも熱心に取り組んでいます。

今後もこのように危険物を保有している事業所との合同訓練を多く展開し、危険物等に起因する事故防止に取り組んでまいります。

茨木市消防本部 活動連携訓練を実施



茨木市消防本部では、平成31年2月18日（月）、2月21日（木）の両日、茨木市大字忍頂寺竜王山展望台付近で、山岳救助事案に迅速かつ適切に対応するため、大阪市消防局航空救助隊（AIR RESCUE）と航空消防活動連携訓練を実施しました。

今回の訓練は、竜王山にハイキングに来ていた市民3名のうち2名が滑落したもので、1名は足を負傷し、もう1名は意識状態が悪く動けないとの想定で行いました。茨木市消防本部救助隊が滑落現場から要救助者2名をピックアップポイントまで搬送し、その後、大阪市消防局航空救助隊と連携して要救助者を救出するという実際の災害に近い訓練を実施することが出来ました。

今後も、基本的な訓練に加え、実際の災害に即した関係機関との訓練を通じて、連携強化と災害対応能力のさらなる向上を図っていき、迅速に対応できるよう努めてまいります。

教養資材の貸出について

規制課
(規制)

はじめに

規制課では、職員向けの教育・研修用教材として、教養ビデオ・DVDの貸し出しを行っています。今回は、その中で「危険物」及び「保安3法」に関する貸し出しについて説明します。危険物や保安を担当されている方は、教養資材の貸し出しについてご存知と思いますが、警防担当で危険物や保安への関わりが少ない方や若年層職員の中には、教養資材の貸し出しについて知らない方もおられるのではないのでしょうか。また、教養資材の存在は知っているけれど、「誰でも借りることができるの?」「どこに連絡すればいいの?」といった疑問をお持ちの方もおられると思います。過去に問い合わせがあった内容も紹介しますので、より多くの方の積極的な活用をお願いします。

危険物教養ビデオ・DVD

危険物関係では、現在合計104本のビデオ・DVDの貸し出しを行っています。危険物を担当している職員の方に限らず、普段危険物関係業務に携わる機会が少ない警防担当の方でも、天ぷら油火災や危険物施設の爆発火災、タンクローリーの横転火災事故等、いつどのような危険物火災の現場に遭遇するか分かりません。このような現場でも、冷静に活動するための知識を習得できる内容が数多く揃っていますので、この機会に危険物についての知識を習得し、万が一の現場活動に備えましょう。また、業務多忙で時間が無い方でも、短時間でご覧いただける内容もたくさんあります。

保安3法教養ビデオ・DVD

保安3法関係では、「高圧ガス保安法や液化石油ガス法の概要」、「高圧ガスの特性と取扱いについて」等の内容が学べるビデオ・DVDを合計13本貸し出しています。高圧ガスの中でも、消防職員として接する機会が多いガス種の内容は、1本25分でまとめられています。また、夏の風物詩である「花火」に関する内容に加え、昨年からの水素火災に関するDVDも追加されましたので、いつでも規制課までご連絡下さい!

貸出一覧表

「危険物」及び「保安3法」の教養ビデオ・DVDの貸出一覧は、庁内ポータルに掲載していますので、次の手順(リンク先)でご確認下さい!!

【危険物教養ビデオ・DVD】

庁内ポータル>所属ポータル>所属サイト一覧>消防局>規制課>02 危険物>危険物資料BOX>危険物教養ビデオ一覧 (H29.4)

【保安3法教養ビデオ・DVD】

庁内ポータル>所属ポータル>所属サイト一覧>消防局>規制課>04 保安3法>保安3法資料BOX>保安3法教養ビデオ・DVD一覧

貸出・返却方法

冒頭でもお伝えしていました、過去に問い合わせがあった貸し出しや返却方法についてお答えしていきます。

質問	回答
Q. ビデオ・DVDを借りたいときはどうしたらいいの？	A. 予防部規制課規制担当までご連絡いただき、貸出一覧から借りたいビデオ・DVDの番号をお伝えください。内線（910-353）
Q. 危険物担当や保安担当しか借りることはできないの？	A. 予防担当、警防担当関係なく職員は誰でも借りることができます。
Q. 貸出期間は決まっているの？	A. 概ね2週間程度ですが、希望をお伝えいただければ、期間を延長することも可能です。
Q. 一度で何本借りられるの？	A. 貸出本数の制限は特に設けていません。希望が複数あれば何本でも貸出可能です。
Q. 返却はどうするの？	A. 貸し出しの際に使用している専用袋（下記写真）に入れて、通送で規制課あてに返却してください。

※他署からの貸し出し依頼が重なった場合は、期間を短縮して早めに返却してもらうこともありますので、ご協力をお願い致します。

【専用袋】



【ネームカード】

(表)

〇〇消防署

※返却時は裏返してください。

(裏)

規制課

ネームカードを裏返して返却して下さい！



おわりに

他都市では危険物施設での爆発火災や、危険物を悪用した放火により多くの方が犠牲となる火災も発生しています。大阪市内においても、危険物関係施設は数多く存在し、日頃から火災予防を心掛けていても、大規模な災害はいつ発生するのか予測ができません。いざという時、市民の方々はもちろんのこと、自身の命を守るためにも、危険物や保安3法について理解を深め、一つでも多くの知識習得にご活用下さい！

(文責 伏見)

特集

第48回

消防救助技術近畿地区指導会

出場隊員コメント

警防課

7月20日に兵庫県三木市で開催された、第48回消防救助技術近畿地区指導会に当局代表として出場した隊員並びに指導員のコメントを紹介します。

陸上の部

ロープブリッジ渡過



港消防署
消防士長
坂田 直隆

私自身、消防7年目にして初めての近畿大会でした。自分の中では、精神を研ぎ澄まし、万全の態勢で本番に挑みました。しかしながら、緊張していたのか

散々な結果となってしまい、一発勝負の難しさを痛感させられました。

その一方、過程では、これまでの消防人生では味わった事のない経験をすることが出来ました。半年間訓練漬けの日々を送らせていただき本当に感謝しています。初めての経験の私には日々の訓練の環境等、全ての事がすごく新鮮で、本当に刺激的な半年間でした。

近畿が終わわり、余韻に浸ることなく、所属では、次の近畿に向けての訓練が始まっています。悔しかった今回の経験を糧に必ず来年リベンジする為、これから日々精進していきます。

引揚救助



中央消防署
消防士長
松 祐輝

今回、初めて近畿地区指導会強化隊員に選出され、強化訓練を通して特に強く感じたことは、感謝の気持ちです。所属の方々ははじめ、多くの方々に支えて頂いたおかげで約6か月に及んだ強化訓練を乗り切ることができました。

当初は、訓練についていくのが精一杯で、技術、タイムもなかなか伸びず、チームの足を引っ張ってばかりで苦しい時期が続きました。チームの先輩の方

支え、そして指導員の方の時には厳しく時には優しい熱い指導のおかげで、苦しい時期を乗り越えることができました。今回は悔しい結果に終わってしまいましたが、この強化訓練で培った不撓不屈の精神と経験を今後の消防人生に活かし、再び必ずこの舞台に戻ってきます。

長期間に渡り、ご支援ご協力頂き本当にありがとうございます。

ほふく救出



住吉消防署
消防司令補
小西 浩司

藤田・今・東本(水上)、小西・山口・上地(住吉)、永島・谷・伊藤(住之江)、指導員國澤(旭)、西田(此花)で挑んだ第48回近畿地区指導会。絶対の自信・ど緊張・平常心・意気揚々と挑んだ心は様々。

結果、一発勝負の難しさで涙した水上と住吉。ベストパフォーマンスで全国切符を手にした住之江。この場に立てた経験は勿論、鬼指導員を中心に3チームで切磋琢磨し、苦しみ・考え・楽しんだ強化訓練の経験は、必ず、今後の消防人生の糧になることは間違いない。

おわりに、長きにわたり訓練に集中させてもらい全力でサポートして頂いた事務局・指導員の皆様、共に汗を流した強化隊員のみんな、所属でバックアップして頂いた同僚・そして家族に「感謝・感謝・感謝」、感謝しかありません。
DO YOUR BEST
ありがとうございました。

はしご登はん



東淀川消防署
消防士長
小間 達哉

今回、自身3度目の近畿地区指導会に参加させて頂きました。

所属でのサポート、指導員、本部の方々、応援にきていただいた多くの方々、そして家族に支えられ、思い切り訓練をさせて頂く事が出来ました。

また、この訓練を通じて多くの仲間ができ、素晴らしい時間を共有することができました。

この訓練でお世話になった皆様に心より感謝しております。ありがとうございました。

大会当日も良い状態で挑む事ができ、ベストを尽くせたと思えます。

ただ目標であった全国大会出場、そして日本一といった結果を残すことができませんでした。

この悔しい気持ちを忘れず、お世話になった方々に恩返しができるよう日々努力し、次こそ

は勝てるように頑張ります。



天王寺消防署
消防士長
春本 智紀

ロープブリッジ救出

私は今回で2回目の近畿地区指導会の強化訓練でしたが、訓練では今までやったことのないパートの訓練に苦労し、本番ギリギリまで何度も試行錯誤を繰り返しました。

その中で、自分の訓練時間が短くなるなか、私の訓練に協力して頂き、一緒に悩んでくれたチームメイト、指導員の方々に感謝してもしきれません。

これは所属に戻ってから自分にもできることで、後輩の訓練や育成に自分の時間を割き、後輩のことを考えて教えることで、

自分も消防職員として大きく成長できると感じました。私はこの強化訓練を通じて教えること、教えられることの有難さや大切さをさらに学ぶことができたので、これからの消防人生で活か

していきたいです。



天王寺消防署
消防士長
妹尾 翔吾

ロープ応用登はん

今回、私は第48回消防救助技術近畿地区指導会に、ロープ応用登はんの選手として出場しました。

今回が初めての出場で、最初は何度も出場されている先輩方の日々の訓練時の熱気や技術の高さに驚いてばかりでした。しかし、ともに訓練に励む一員として、日々、志高く訓練に取り組み、目標を持って取り組むことを大切に、技術や救助の精神を学び、高めることができました。つらいとき、しんどいときにこそ、一丸となって、目標に向かって邁進する姿こそ、この訓練で気づくことができた大切なことであると感じています。

この貴重な体験をここで終わらすことなく、日々の自己研鑽

に活かし、同僚や後輩たちに伝えていこうと思います。

障害突破



阿倍野消防署
消防士長
金銅 哲

「障害突破訓練、第16組を行います」

近畿大会の最終組。背中に受けた熱い声援に押されながら、スタートラインに立ちました。「俺たちが勝つ」この最高の舞台に自信を持って立てたのは、所属をはじめ、上司、先輩、仲間、事務局等の方々、家族、皆さまのお陰です。半年間、怪我等により、チーム5人が揃って訓練することがほとんどなかったですが、このメンバーで訓練出来たことは、最高の宝物です。

今回、全国の切符を掴み取ることが出来ませんでした。この「悔しい」という気持ちを忘れることなく、更なる高みを目指して、精進していきたいと強く思います。長期に渡り、ご支援、ご

指導ありがとうございました。

水上の部

複合検索



生野消防署
消防士長
山崎 弘之

水上の部の複合検索という種目で近畿地区指導会に出場させていただきました。複合検索は個人種目で、上位2名が全国大会に出場できます。大阪市からは自分を含め3名が出場していたので、全国大会へ行くための2つの出場枠を絶対に大阪市の隊員で埋め尽くすという目標を持ち取り組んでいました。

結果、自分は届きませんでした。大阪市の隊員が一人、全国大会への出場を果たしたので仲間として非常に嬉しく思います。ご指導、応援、サポートをしてくださった方々に対して自分が結果で恩返しできなかったことは悔しいです。本当に申し

訳ありません。

強化訓練で学んだことを今後の所属での訓練や現場活動に活かして還元し、自分自身ももっと成長したいと思います。

基本泳法



住吉消防署
消防士
大山 勇雅

救助技術の向上を図り、消防救助活動を通じて市民の負託にこたえることを目的として、第48回消防救助技術近畿地区指導会及び指導会に向けての訓練に臨みました。

日々の訓練においては、災害現場に通じる強靱な体力、気力、強い精神力並びに規律心を養うとともに、救助技術及び知識の向上に努めました。指導会当日では、日頃錬磨した救助技術を披露すると同時に、他消防本部の救助技術を学ぶ良い機会となりました。

指導会を通じて学んだことを今後のあらゆる消防救助活動に

活かし、市民の期待にこたえられるような消防職員になるため職務に邁進していきたいと思えます。

溺者搬送



浪速消防署
消防士長
田澤 健至

溺者搬送で出場させて頂きました田澤と申します。

今回初めて水上の部の代表として訓練に参加させていただき、非常にいい経験になったと感じています。

溺れている人を自分一人で助け出すという種目ですが、どんな場合でも人を助けなければいけない人助けのプロとして日々訓練していますが、資器材も何もなく人を助け出すという特殊な競技であったと思います。

この訓練を通して、資器材を使うという固定概念にとらわれることなく、時には自分の体も資器材の一つになるのだということを考えさせられる種目です。

た。

近畿大会という大きな舞台で、全力で訓練に取り組めた環境を作ってくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

この貴重な経験をこれからの消防人生に活かしていきたいと思えます。

水中結索



阿倍野消防署
消防士長
坪田 真人

全国1位を獲得するため、昨年と同じメンバーで組ませてほしいと、指導員にお願いして挑んだ大会でした。結果は、自分の減点のため失格となり、指導員、チームメイト、応援してくれた方々へ申し訳ない気持ちでいっぱいです。これからの訓練、現場で同じ後悔をしないよう、そして周りの人たちが後悔を繰り返さないよう、この経験を伝えていきたいと思えます。

長い間訓練をさせてもらい協力していただいた全ての人に感謝

しています。

記していくと書ききれない、たくさんの方々で大変お世話になりました。今年も水陸の隊員と新しい出会いがあり、強化訓練を通じて強い絆ができました。このことを自分の財産とし、これからの消防人生に活かしていきます。

溺者救助



東淀川消防署
消防士
吉岡 慎志

第47回大会に続き、2年連続での出場となりましたが、昨年度は自然災害の前に中止となり、やり場のない気持ちが残りしました。

2年分の気持ちをぶつけようと望んだ今大回でしたが、結果は全国大会出場には及びませんでした。一緒に訓練してきた大阪市消防局代表の仲間たちが全国大会出場を決め、悔しい気持ちでいっぱいでした。

自分には何が足りなかったの

かを見つめ直し来年度は必ず日本一になります。

最後になりましたが、快く訓練に送り出してくださった所属の署員、熱い指導でモチベーションを上げてくださった指導員、見えないところで大きな支えをしてくださった事務局、そして最後まで共に戦ったチームメンバーの皆様には厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

人命救助



浪速消防署
消防士長
堤 勇樹

今回の強化訓練が、最もチームの問題点や課題そして自分の弱さを知ることができました。

私たちは常に勝負の世界で生きています。訓練、日々の業務、そして災害現場：あらゆる場面で勝つために研究して戦います。

しかし、敗れて初めて知ることも多くあります。できればこんな悔しい気持ちはもう二度と

したくありませんが、この経験は滅多にできるものではありません。全力で訓練に打ち込ませて頂けた特権として、この結果を噛みしめ、いつまでもこの勝負の気持ちを忘れず、救助に向き合おうと思えます。

このような貴重な経験をさせていただいたすべての皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

水中検索救助



淀川消防署
消防士
氏林 七海

私は、近畿地区指導会強化訓練に初めて参加させていただきました。

訓練の進め方もわからず、戸惑いました。泳力には自信があったのですが、操法となれば普段の泳ぎ方と違い苦しむ部分もありました。悩んでいるうちに後期訓練の半分が終わってしまいました。1日1日の訓練の大切さを学ぶこともできました。個人としての記録も上がり、チームと

しての記録も上がっていったことの楽しさを感じることもできました。

また、訓練以外の事も学ぶことができ、所属に戻ったときに必ず活かせることはかりでした。

近畿地区指導会強化訓練を通して辛いことばかりではなく、人間としても成長させてくれました。この経験を活かして業務に取組んでいきたいです。

陸上指導員



司令課
消防司令補
大槻 銀河

訓練塔は畑、そこに自分と言う名の苗を植える。その苗に汗、時には涙と言う名の雨を降らせ、力と言う名の栄養を蓄える。そこに応援と言う名の日晒しを浴び、時には叱咤激励と言う名の強風に吹かれながら、実力と言う名の大きく美しい花を咲かす。その花で近畿地区指導会に臨み、どの花が一番大きく美し

いかを競うのであるが、間違いなくどの花も美しかった。

花が結果と言う名の実に変わり、その実の中には、全国大会出場の結果を勝ち取った者、そうでない者、個々に実った結果は違えども、その実の中には、必ず今後の消防、救助人生に生きる、新しい種が存在する。全国大会を戦う者は、その絶品の実を熟成させ、日本一美味しい実の種を持ち帰って頂きたい。惜しくも全国大会へ出場できなかった実はどうするのか？来年この畑に植えるため、その種を大切に努力し育て、初々しくも力強い、立派な苗を持ち寄れば良い。

この畑以外に新しい畑を見つける者もいるだろう。どの畑でも良い、その苗を与えてくれた全ての人に感謝し、この経験を今から消防、救助の門を叩く、小さな苗達にしっかりと伝え、後進の育成にも力を注いで欲しいと、切に願う。

指導員代表として僭越ながら執筆させて頂き、私自身の苗も、

まだ美しい花を咲かせる可能性を感じさせてくれた方々とこの場に感謝申し上げます。

水上指導員



東成消防署
消防司令補
榎木 皓平

今回、初めて水上の部の指導員として近畿地区指導会に参加させていただきました。非常に光栄で、嬉しい気持ちを持ったのと同時に、自分にこの重責が務まるのかという不安がありました。しかし、強化隊員として参加していた時に達成できなかった全種目制覇を目標に掲げ、説明会の日に隊員の前で口に出すことによって、その不安を目標達成の原動力へと変えることができました。

訓練では、隊員たちは全国大会出場に向けて、1つ1つの目標を達成しながらゆっくりと、しかし確実に実力をつけていきました。時として異なる種目の

隊員間で意見を出し合うなど、水上の部一丸となって訓練に取り組む姿があり、この隊員達ならきつとやってくれると思わせてくれました。

そんな彼らを絶対に全国大会に出場させると強い気持ちで指導に当たりました。自分の意見に固執しすぎず、周囲の忌憚のない意見に耳を傾けることで新たな気付きを生み、その気付きがさらなる成長を促す。大消レスキューの一員として、一消防人として、真摯に訓練に向き合った隊員たちを私は誇りに思います。

最後に、快く私を送り出してくださった所属の皆様、事務局と指導員の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

全国大会出場隊員のコメントは次号に掲載します。

(文責 三谷)

そやねん!

教育訓練センター

こんにちは。高度専門教育訓練センターです。

現在、第29期救急救命士養成課程研修生

奮闘中です!!

【第29期救急救命士養成課程】 令和元年9月2日～令和2年3月6日(予定)

7カ月の日勤研修(3交代制病院研修あり)を、大阪市25名、大阪府下52名、他県13名の合計90名で、国家試験合格を目指し勉強に訓練に充実した日々を送ります。

救急救命士国家試験は年々難易度が高くなっており、全ての過程を修了したからといって受かるとは限らない厳しいものです。

それだけに、この研修期間を共に過ごした救命士の同期は、これからの消防人生のかけがえのない仲間となります。



【閉講式】



【ドクターヘリ実習風景】

救急救命士養成課程を受講するには、以下の条件を満たした上で選考試験で成績上位となり、所属長の推薦を受ける必要があります。(同一署からは3名が上限)

- (1) 救急標準課程の教育を修了している者。
- (2) 現に救急業務に従事しており、かつ救急隊員として5年以上の実務経験を有する者又は救急活動従事時間が延べ2,000時間以上の者。
- (3) 大学入学資格がある者。

以上の条件に加えて、大阪市では以下の条件が必要です。

- (4) 救急業務に熱意があり、署長が選考試験の合格を目指していると認める者。
- (5) 消防司令補以下の階級にある者のうち、研修開始日現在において満35歳以下の者。ただし、特に救急業務に熱意があり、署長が推薦する者にあっては概ね40歳を上限とする。

第29期生の選考試験は平成31年2月28日に実施され、114名が受験し、平均点は50.6点、合格最低ラインは67点でした。

研修生の皆さん、一緒に頑張って行きましょう。

これから救命士を目指す皆さん、訓練センターで待っています!

予防部めぐり～各担当からの情報発信～ 自家発電設備の点検について

規制課

はじめに

消防用設備等の非常電源となっている自家発電設備の点検方法が、平成 30 年 6 月 1 日に改正され、1 年余りが経ちました。この間に点検の重要性に対する理解が着実に浸透してきているものと思われませんが、具体的な点検の内容については専門的な事項が多く含まれ、分かりにくいと感じている方も多くいるのではないのでしょうか。今回は、自家発電設備の点検方法の改正内容と点検の方法について、写真を交えながら紹介させていただきます。

改正内容について

平成 30 年 6 月 1 日の改正前までは、スプリンクラー設備などの消防用設備等の点検の際、非常電源として自家発電設備が設置されている場合は、負荷運転を実施しなければなりませんでした。この負荷運転の実施の際に、建物の全館停電を行わなければならない場合があります。また、疑似負荷装置を用いて点検を行う方法もありますが、屋上や地階など、場所によっては疑似負荷装置の搬入が困難な場合があります。

これらの問題を解消するために下記の改正が行われました。

改正のポイント

- 1 負荷運転に代えて行うことができる、内部観察等を追加
- 2 負荷運転及び内部観察等の点検周期を、予防的な保全策を講じることにより 6 年に 1 回に延長
- 3 原動機にガスタービンをを用いる自家発電設備の負荷運転は不要
- 4 換気性能点検は負荷運転時ではなく、無負荷運転時に実施するように変更

予防的保全策を講じた場合の点検周期の例

従来は 1 年に 1 回負荷運転を行わなければなりませんでしたが、製造後または負荷運転を行った後、1 年ごとに予防的保全策を講じていく場合は、下図のように次回以降の負荷運転を 6 年に 1 回とすることができます。また、次回以降、負荷運転の代わりに「内部観察等」を行うことでも構いません。この内部観察等に際しては、全館停電を行わず実施することができます。



※ 2017年6月以降に製造されたもの又は負荷運転を実施したもののシミュレーションです。ただし、それ以前に製造されたもの又は負荷運転を実施したのものであっても、定期的に予防的な保全策が講じられていることが確認できるものに取り、同様に取り扱うことができます。

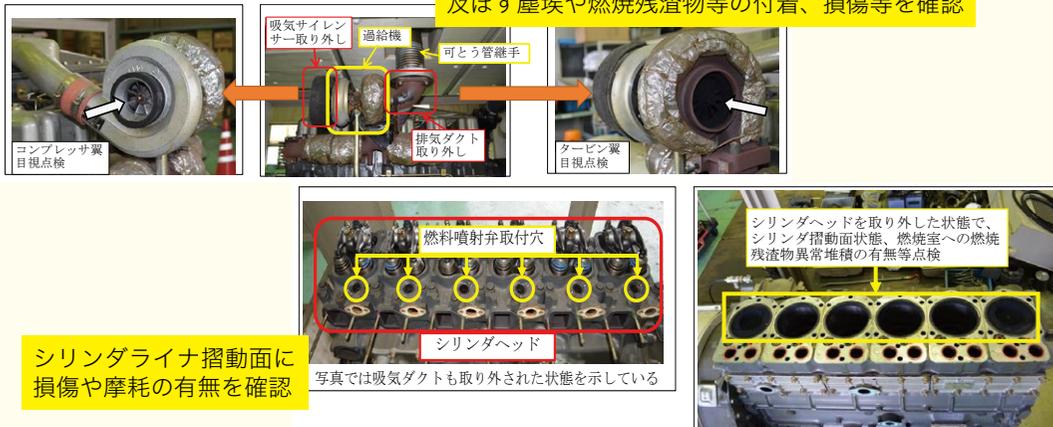
図は総務省消防庁HPより引用

内部観察とは？

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 1 過給器コンプレッサ翼及びタービン翼並びに排気管等の内部観察 | 2 燃料噴射弁の確認 |
| 3 シリンダ摺動面の内部観察 | 4 潤滑油の成分分析 |
| | 5 冷却水の成分分析 |

〈内部観察の例〉

コンプレッサ翼及びタービン翼に運転に支障を及ぼす塵埃や燃焼残渣物の付着、損傷等を確認



シリンダライナ摺動面に損傷や摩耗の有無を確認

写真では吸気ダクトも取り外された状態を示している

写真は総務省消防庁HPより引用

予防的保全策とは？

- 予熱栓、点火栓、冷却水ヒーター、潤滑油プライミングポンプがそれぞれ設けられている場合は**1年ごとに確認が必要**
- 潤滑油、冷却水、燃料フィルター、潤滑油フィルター、ファン駆動用Vベルト、冷却水用等ゴムホース、パーツごとに用いられるシール材、始動用の蓄電池等については**メーカーが指定する推奨交換年内に交換が必要**



写真は総務省消防庁HPより引用

おわりに

点検は継続して実施することが大切です。大阪市消防局では、今後も立入検査などの各種業務の機会を捉え、自家発電設備の点検の必要性や重要性についての啓発を行い、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」をめざしてまいります。
(文責 松村)

STR「セーフティーネット・レスキュー」について

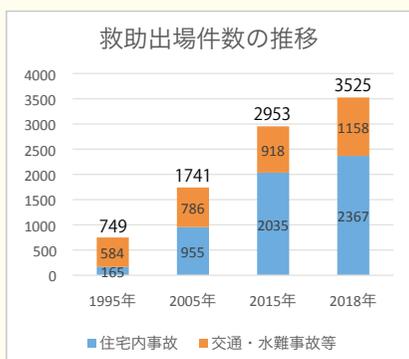
警
防
課
(救助)

はじめに

超高齢社会を迎え、大阪市内では救助件数が年間100件のペースで増加し、平成30年(2018年)では年間3500件を超えています。その約7割が住宅内事故に分類される事案です。

建物の廊下で転倒する、階段を転落する等の日常生活における住宅内での事故が急増しており、また、独居の高齢者家族の方と連絡がとれないといった通報に係る緊急を要する安否確認等、今後も救助件数の増加が予測されています。

これまで大阪市消防局では、これらの救助事案に29隊の救助隊により対応してきましたが、住宅内事故の発生件数が特に多い地域や、市内の外縁部で救助隊の到着に時間を要する地域における救助体制の強化を図るため、「STR「セーフティーネット・レスキュー」」を発隊し運用しています。



※住宅内事故とは

住宅内において、主に高齢者等の日常生活における事故により、自力では外に出ることができず支援を必要とする事案。

事例：急病により意識が朦朧となり、自宅居室で動けない。

：転倒し腰部等を負傷したため動けない。

セーフティーネット・レスキュー「STR～Safety Net Small Tank Rescue～」

住宅内事故の発生件数が多い行政区や、市内の外縁部で救助隊の到着に時間を要する地域に、通常、消火隊として運用している小型タンク車に救助活動に対応できる資器材を積載し、住宅内事故に必要な知識及び技術を習得させた隊員で構成された、増加する住宅内事故に対応する小隊です。

現有の消防力を最大限に活用し、網の目のような安全対策を張ることで、市内全体に対する安全・安心を提供する隊として発隊しました。

平成29年10月から4隊、平成30年10月から4隊の計8隊の運用を開始し、本年10月1日にはさらに4隊を増隊し全12隊の運用を開始します。現場への到着時間の短縮や活動の迅速性を高める等、より一層の救助体制の強化を図ることが目的です。

平成 29 年 10 月から現在までの運用隊	令和元年 10 月に運用を開始する隊
桜島小隊・鶴町小隊・加島小隊 井高野小隊・新森小隊・苅田小隊 加美小隊・海道小隊	佃小隊・西淡路小隊 平林小隊・長吉小隊

車両・資器材

消防隊として活動する小型タンク車（ST車）に、救助任務を遂行できるように車両を改造し、新たな資器材を積載しました。

新たな資器材

三連はしご・有毒ガス検知器
バスケット担架・充電式切断機
救助用ロープ



有毒ガス検知器



充電式切断機

住宅内事故の発生原因

毎年 100 件のペースで増加している住宅内事故は、疾病により住宅内で動けなくなる事案が最も多く発生していますが、住宅内での転倒や階段から転落し負傷するといった日常生活での事故によるものも多く発生しています。これらの日常生活における事故は、居室内の整理整頓、人が通る通路にはコード類などつまずきやすいものは避ける、階段には手すりやすべり止めを設けることで未然に防ぐことができます。

おわりに

大阪市消防局では、増加の一途をたどる住宅内事故を含む救助事案の分析を継続しておこない、消防活動体制の充実強化を図ります。

また、住宅内事故の発生原因でもある住宅内で転倒するなどの日常生活における事故を低減するために、予防救急と合わせた広報をおこない、市民の皆様に広く普及啓発してまいります。
(文責 烏野)



自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長
川西 良和

弊社は1959年11月に大阪市生野区へ本社移転して60周年の節目を迎えました。これまでの感謝の思いを地域への貢献として災害時支援にも取り組み強化していきたいと思っております。



ロート製薬と聞いて思い浮かぶのは目薬、それとも胃腸薬？

明治32年（1899年）に胃腸薬を発売。それが始まりで、現在はコーポレートスローガンの「NEVER SAY NEVER」を掲げ、世の中を健康にする挑戦者として邁進されている製薬会社です。

生野区 ロート製薬株式会社

自衛消防協議会には発足の昭和46年から加入して頂き、平成25年から現在まで自衛消防協議会会長に就任されご活躍されています。

広大な敷地には50メートルプールを有し、1972年のミュンヘンオリンピックでは、金メダルを獲



得した青木まゆみ選手を輩出されています。

現在は、このプールを活用し来たる南海トラフ巨大地震に備え、生野消防署消防隊の遠距離大量送水システム（ドラゴンブーストユニット）訓練の場として提供していただき地域の安全にもご協力頂いております。

女性 防火クラブ だより

東成区

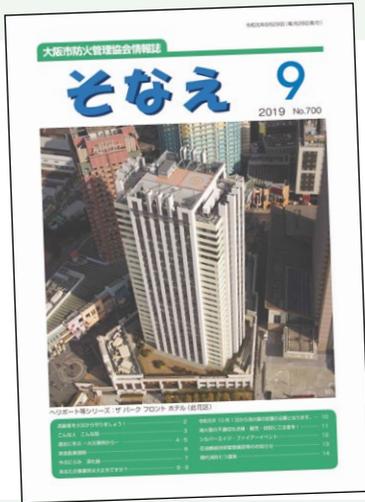
東成区女性防火クラブは、平成3年に発足し、現在では1,040名のクラブ員数であり内43名が地域防災リーダーに所属しています。クラブの活動は、地域の安全と安心を願って、区民とひとつとなり、防火防災の取り組みをしております。毎年あらゆる機会をとらえ、家庭からの出火防止、住宅用火災警報器の設置などの呼びかけをしており、高齢者防火推進週間、春・秋の火災予防運動期間中には、駅頭広報・高齢者宅への防火訪問等を消防職員と合同で実施しております。

「東日本大震災」の発生から8年が経過し「南海トラフ巨大地震」の発生が危惧される中、今後は、さらに、クラブ員間の絆を深め、地域防災力の向上、近隣とのコミュニケーションの構築を目標に掲げ、「災害に強い安全安心な町・東成区」づくりに力をあわせていきます。



大阪市防火管理協会からのお知らせ

ご入会のご案内



■ 情報誌「そなえ」

- 最新の防災情報を掲載する情報誌です。火災原因レポートや家庭、職場等での予防救急のほか、現在大阪市消防局で使われている消防車両、救助用機材などを紹介します。
- 毎月28日発行、B5判

■ ご入会のご案内

◆ 会員の方には、次のような特典があります。

- リアルタイムな防災情報を掲載した「そなえ」を毎月送付。
- 防火管理、防災管理に関する質問や相談にお答えします。
- 消防関係法令集など協会発行の防災図書を会員特別価格で販売。
- 会員の方には、支部(消防署)の行事、イベントへのご案内や防火管理、防災管理に功績のあった方を表彰します。

お問い合わせ・お申し込み先

(一社)大阪市防火管理協会

〒544-0021 大阪市生野区勝山南4丁目7番11号

TEL: 06-6741-2130 FAX: 06-6712-2130

E-mail: info@sonae.or.jp

◆ 会員区分と年会費

会員区分	会員要件(法人、個人を問いません)	会費(年会費)
運営会員	当協会の事業運営にご協力をいただきます。(無報酬です)	3,600円(4月~翌3月) (途中入会は、月割りでご納入いただきます)
一般会員	運営会員を希望されない方	
賛助会員	当協会の事業に賛同し、ご支援をいただける方	5,000円を1口とし、1口以上

防火・防災管理講習日程表

● 甲種防火管理新規講習

〔講習会場：阿倍野防災センター〕
〔講習時間：両日とも10:00~16:00〕

回数	開催日
第32回	令和元年12月2日(月)、3日(火)
第33回	令和元年12月5日(木)、6日(金)
第34回	令和元年12月11日(水)、12日(木)
第35回	令和元年12月14日(土)、15日(日)
第36回	令和元年12月26日(木)、27日(金)

● 甲種防火管理再講習

講習会場：大阪市消防局生野分室

回数	開催日
第9回	令和元年12月16日(月) 14:00~16:00
第10回	令和元年12月25日(水) 10:00~12:00

● 防火・防災管理新規講習

〔講習会場：阿倍野防災センター〕
〔講習時間：両日とも10:00~17:00〕

回数	開催日
第19回	令和元年12月7日(土)、8日(日)
第20回	令和元年12月19日(木)、20日(金)
第21回	令和元年12月21日(土)、22日(日)

● 防火・防災管理再講習

〔講習会場：大阪市消防局生野分室〕
〔講習時間：14:00~17:00〕

回数	開催日
第9回	令和元年12月18日(水)
第10回	令和元年12月25日(水)

健康ダイアリー

企画部 人事課



シリーズ ～がん～ Vol.2 「食道がん」(No.1 早く見つけよう!)

厚生労働省によると、2017年の食道がんによる死亡者数は、全国で11,568人です。男性では悪性新生物による死因の第7位、男女合わせると第9位となっています。男性は女性と比べて6倍罹りやすく、年齢は60～70歳代が全体の70%です。

○食道がんの難しさ

食道がん全体で5年生存率（2017年）は、37%であり、同じ消化器のがんである胃がんが65%、大腸がんがおおよそ70%であることに比べると、食道がんの治療がとても難しいことがわかります。

難しいがんといわれる理由としては、以下のことが挙げられます。

- 早期に症状が自覚しにくく発見が遅れやすい。
- 食道の壁が薄く外膜がないため、周囲に浸潤しやすく、進行が速い。
- 周囲に肺・大動脈・心臓・気管といった重要臓器があり、治療するうえでの困難さがある。

○お酒で赤くなる人は要注意

日本人の食道がんの90%以上は、喫煙と飲酒が大きな誘因とされる扁平上皮がんです。特に飲酒の影響は大きく、世界保健機構（WHO）はアルコールが体内で分解されてできるアセトアルデヒドを「最も関連の強い発がん物質」と認定しました。

日本人の多くがアセトアルデヒドを分解しにくい体質を持ち、この体質の人はアルコールを摂取すると顔がすぐに真っ赤になることがわかっています。



○内視鏡検査を受けましょう!

早期には、ほとんど症状がありません。人によっては、熱いものや酸っぱいものがのどにしみたり、飲み込むときに違和感がある程度です。

このため、早期の食道がんは、内視鏡検査で発見されることがほとんどです。特に、飲酒・喫煙する中高年の男性には、定期的な内視鏡検査をお勧めします。

今回は、食道がん No.2です。

親睦会だより

大阪市消防職員親睦会

令和元年度 親睦会水泳大会結果

令和元年度親睦会水泳大会

が、7月23日（火）大阪プー
ル（港区）で開催されました。
主な結果については、表の
とおりです。

令和元年度 親睦会水泳大会結果一覧表

種目	優勝	準優勝	3位				
1 50m平泳ぎ (女子及び男子50歳以上)	塩谷 晴彦 (淀川)	瀧井 義雄 (平野)	石川 修二 (都島)				
タイム	37秒61	40秒16	40秒83				
2 50m平泳ぎ (35歳以上50歳未満)	橋本 聡 (水上)	小山 大吾 (東淀川)	高橋 順一 (都島)				
タイム	34秒95	38秒39	42秒69				
3 50m平泳ぎ (35歳未満)	米田 規員 (東成)	吉岡 慎志 (東淀川)	木葉 海飛 (西淀川)				
タイム	37秒59	38秒92	41秒26				
4 50m自由形 (女子及び男子50歳以上)	阪口 隆司 (北)	塩谷 晴彦 (淀川)	石川 修二 (都島)				
タイム	29秒84	31秒29	31秒47				
5 50m自由形 (35歳以上50歳未満)	西川 暢彦 (水上)	濱岡 孝史 (都島)	玉木 力也 (局)				
タイム	25秒94	26秒89	26秒92				
6 50m自由形 (35歳未満)	山村 亮博 (平野)	末本 竹慶 (此花)	大野 真嗣 (平野)				
タイム	25秒83	26秒50	27秒07				
7 50m背泳ぎ	氏林 七海 (淀川)	寺西 拓海 (北)	吉岡 慎志 (東淀川)				
タイム	28秒44	33秒29	36秒58				
8 50m バタフライ	甲田 祐一 (平野)	西口 拓馬 (都島)	箱部 雄太 (北)				
タイム	28秒04	29秒74	30秒06				
9 100m 平泳ぎ	落 大心 (都島)	榎本 竜也 (西淀川)	米田 規員 (東成)				
タイム	1分15秒39	1分22秒55	1分29秒08				
10 100m 自由形	氏林 七海 (淀川)	加賀 朋司 (都島)	矢野 太志 (大正)				
タイム	58秒43	1分01秒47	1分01秒85				
11 200m リレー	平野チーム	都島チーム	北チーム				
タイム	1分46秒22	1分47秒96	1分52秒06				
第1泳者	第2泳者	大野 真嗣	甲田 祐一	落 大心	西口 拓馬	阪口 隆司	寺西 拓海
第3泳者	第4泳者	山科 亮博	白井 聡	濱岡 孝史	加賀 朋司	箱部 雄太	青藤 貴裕



雪 鯨 橋(せつげいきょう)

大阪市東淀川区瑞光2丁目・天然山瑞光寺境内の弘済池に架かる橋で、地元では「くじら橋」とも呼ばれている。

1756年(宝暦6年)に4代目住職・潭住知忍(たんじゅうちにん)が、南紀太地浦(和歌山県太地町)に行脚した折に、太地の村人は捕鯨で生計を立てていたが、折からの不漁のために食べるものにも困っている状況だった。村の代表者が潭住和尚に豊漁祈願を頼んだものの、和尚は「殺生は仏教の教えに背く」として一度は断ったが、村人の困窮している姿を見て豊漁祈願に応じた。

和尚が祈願を始めたところ豊漁となり、村の危機は解決した。後日、村人は瑞光寺を訪れて鯨の骨18本を寄進した。和尚が鯨の供養のために、骨を使って橋を作った事が始まりとなった。

以後、何度も架け替えが行われ、令和元年5月に新しく架け替えられた。境内には、大正、昭和、平成にかけられていた骨が置かれてある。今年掛けられた骨と平成の時は[いわし鯨]の骨だと、住職に伺った。



アクセス

大阪シティバス 瑞光2丁目バス停すぐ
 京阪バス守口上新庄線9A 瑞光2丁目バス停すぐ
 阪急京都線 上新庄駅東へ約500m
 大阪メトロ今里線 瑞光四丁目駅南西へ約700m
 大阪メトロ今里線 だいどう豊里駅北西へ約1km

編集室



この間、テレビでビートたけしが、「ラムネの瓶の中に入っているのは、B玉じゃなくてA玉らしい。」と言うのはガラスの玉を製造していて、綺麗に球体になったものがAクラスで合格品、これがラムネの瓶の中に入れるA玉で、見た目では判らないがいびつな規格外のガラス玉がB級品として撥ねられたものが、B玉として駄菓子屋で売られた。

子どもの頃にクッキーの空き缶に貯めて、毎日のように公園や空き地でゲームに興じたもので、透明の玉に色模様が入ったものや、インクブルーのガラス玉を見つけるとインク玉として大事にしていたの思い出した。

昨年、引越した時にB玉が出てきたが、昔のものでなく、熱帯魚の水槽に入れていたもので、カラフルで美しいものばかりだったが、緑色で疵だらけで乱反射していたB玉が懐かしい……。

形始む版木に居待月あかり

(高)



海外のドラマで、案山子が謎解きのポイントになり、登場人物が日本では案山子が神格化されていたとのセリフ。

調べてみると謎の神様があらわれたが、誰もその正体がわからない。するとヒキガエル(各地に生息し、害虫を食べる?)が、「物知りの案山子(田の神で祀っている神社もある)の神様に聞くように……と古事記に。

神話は荒唐無稽にみえて、当時の考えや生活が窺える。逆輸入の情報で、古の神々に思いを巡らせた。

(隆)



子どもの頃、夏休みなどで読書感想文という宿題があり、非常に苦手だった。そもそも長時間の読書が苦痛で、その上感受性が鈍いとなれば尚更です。

小説や映画などの大まかなあらすじがネット上に掲載されている「ネタバレ」というサイトがあります。そのサイトを見れば、本を読まずにそれなりの読書感想文が書けるような気がしますが、本来の目的からはかけ離れています。私が子どもの頃、そんなサイトがあれば、たぶん活用していたと思います。

(正)

大阪消防

令和元年10月号 第70巻第10号 通巻第835号
 発行 大阪消防清風会
 企画・監修 大阪市消防局
 編集 大阪市消防局企画部企画課内
 大阪消防編集部
 〒550-8568 大阪市西区九条南1-12-54
 TEL 06-4393-6036
 FAX 06-6582-2864
 Eメール taka-yamano@city.osaka.lg.jp
 年間購読料 年間4,560円
 (消費税・送本手数料含む)
 制作・販売 株式会社サイネックス

食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F 難波個室居酒屋 生き意気・さくらさくら

11F～5F サウナ&カプセルアムザ
西日本最大590室！本格派サウナ

展望露天風呂、温泉『萬の湯』

4F ミック&インターネットカフェ アプレシオ
地域最安値！アイ&ソフト食べ放題

3F ビッグエコー・鶴屋亀八・さんばち屋

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋 なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！



ご愛読者の皆様へ

大阪消防編集部からお知らせ

大阪消防 6月号



大阪消防 7月号



毎月、ご愛読頂きまして有難うございます。

本誌は、令和元年5月号から令和2年4月号までの年間購読という事で発行しておりますが、途中から購読希望のお問い合わせが、数多く参りまして喜んでおります。つきましては、購読希望の方がおられましたら「大阪消防」編集部までご一報頂きますれば幸甚に存じます。

なお、購読中止のご連絡がございましたら、自動的に購読の継続をさせていただきます。購読を中止される方は、**3月31日まで**に下記編集部までお手数ですがご連絡下さいますようお願い致します。

また、バックナンバー等、1冊からご購入頂けますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

年間購読料を納めて頂きますので、途中月の購読中止時につきましても、購読料の返戻金はございません。

大阪市消防局 企画部企画課 大阪消防編集部

TEL: 06-4393-6036 Eメール: taka-yamano@city.osaka.lg.jp

〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54

入場無料

令和元年度 防災講演会

「来るべき南海トラフ地震に備えて」

日時 令和元年11月21日(木)
午後2時30分～午後5時(午後1時45分開場)

場所 **NHK大阪ホール**



内容 オープニングイベント ● ウェルカムコンサート
● 大阪市消防局救急応急手当実技

- **第一部 演奏** 大阪府警察音楽隊
- **第二部 防犯教室** 「特殊詐欺の被害にあわないために」 大阪府警察本部生活安全指導班
- **第三部 防災講演** 公立大学法人兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 科長 **室崎 益輝**(むろさき よしてる)氏

申し込み方法

● 「はがき又はFAX」で ①氏名 ②年齢 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥同伴者氏名(3名様まで)を明記のうえ、〒540-0012 大阪市中央区谷町3丁目5番5号 谷三会館ビル5階 一般社団法人大阪府防災通信協会 まで

- 募集期間は10月1日(火)から ● 募集定員は**先着800名様** 定員になり次第締め切ります。
- 応募は**1通4名様まで**に限りませす。
- 入場整理券の送付をもって参加者とさせていただきます。● 入場整理券は10月下旬ごろに発送する予定です。ご応募いただいた個人情報は、この目的以外に使用いたしません。

問合せ先: 一般社団法人大阪府防災通信協会 TEL 06-6947-0246 FAX 06-6947-0052 (土・日祝を除く 午前10時～午後5時まで)

主催: 一般社団法人大阪府防災通信協会 / 後援: 大阪府・大阪市・大阪府警察本部・公益社団法人 大阪府防犯協会連合会



ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

大阪キタなら

歓送迎会、同窓会他
各種ご宴会承ります!



★エレベーター新設! ★リニューアル改装!

ご晩酌・ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6365-0010

大阪市北区曾根崎 2-1-9
梅新 お初天神(露天神社)
正門出て左へ30m

大阪ミナミなら

都心の
ご宴会処 **鳥よし本店**

電話 (06) 6643-1230

大阪市中央区千日前 2-7-16
千日前交番裏 30m

二次会
なら...

グランドラウンジ 大阪市中央区千日前 2-7-16
ミス大阪 電話 (06) 6643-1210
ヤングラウンジ 大阪市中央区千日前 2-8-5
ザ・フレッシュ 電話 (06) 6644-1313

ナイトラウンジ 大阪市中央区千日前 2-8-5
ミスパール 電話 (06) 6643-1220
ミスパール 大阪市中央区千日前 2-8-5
昼ラウンジ 電話 (06) 6643-1220

鳥よしグループ 本社 大阪興業株式会社 〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-7-16
鳥よし共栄株式会社 電話 (06) 6643-2233・6644-1044